

e-Damシリーズ 日報アプリケーション

e-DamWin with SSE

<騒音振動>

Version 1.1

<操作マニュアル>

目次

◇システムの特徴.....	5
◇使用前の準備.....	6
◆ <u>現場管理</u>	
現場管理画面.....	7
設置場所設定画面.....	8
現場情報の登録手順.....	9～11
データ削除.....	12
メイン画面.....	13～14
◆ <u>データ取り込み</u>	15～16

目次

◆測定値の確認

マルチマップ	17
--------------	----

騒音振動(EBH2-SSE)

瞬時値グラフ画面	18
----------------	----

瞬時値数値画面	19
---------------	----

演算値グラフ画面	20
----------------	----

演算値数値画面	21
---------------	----

騒音振動(EBH2-SSC)

瞬時値グラフ画面	22
----------------	----

瞬時値数値画面	23
---------------	----

演算値グラフ画面	24
----------------	----

演算値数値画面	25
---------------	----

◆過去データ検索

日付検索	26～28
------------	-------

特殊検索	29～31
------------	-------

過去データ検索結果画面の操作	32～35
----------------------	-------

◆レポート

日報	36～37
----------	-------

騒音振動(EBH2-SSE)	38～42
----------------------	-------

騒音振動(EBH2-SSC)	43～46
----------------------	-------

月報	47
----------	----

日報自動送信設定	48～49
----------------	-------

目次

◆管理メニュー1

マルチマップ設定

マップ画像登録50

スタイル設定51

測定値表示設定

グラフ設定.....52～53

数値設定.....54～55

規制値設定.....56～57

過去データ検索表示設定.....58

◆管理メニュー2

警報灯設定.....59

メール設定.....60

オプション設定.....61

◇ソフトの終了62

◇データのバックアップ、復元63～64

◇アクティベーションコード認証.....65

◇特記事項.....66

システムの特徴

◎オンラインでリアルタイムな監視が可能!

ネットワークで接続された「e-Dam」シリーズからリアルタイムでデータを受信し、数値やグラフで確認することができます。

◎複数個所のマルチ表示に対応!

地図や写真の画像上にポイントを設定することで、複数個所の設置場所にある測定機器をまとめて監視することができます。

◎異なる測定機器のデータを並べて比較!

過去データを見たい測定機器、項目を自由に選択することが可能で、グラフを並べて確認することができます。

また、検索も日時指定の他に、「風がもっとも強い日」などの特殊な条件検索も選ぶことができます。

◎日報を指定のアドレスに自動送信!

あらかじめ送信設定を行っておくことで、深夜0時過ぎに前日の日報を自動で送信することができます。

◎Web版と同じ操作感で!

弊社のクラウドサービス「Web日報」との親和性も高く、ほぼ同じ操作感でお使い頂く事ができます。

使用前の準備

動作環境

Windows Vista(Home Basicは非対応) 32bit版のみ

Windows 7 32bit版・64bit版

Windows 8 / Windows 8.1 64bit版

CPU	Core2Duo 1.3GHz同等以上(推奨:Core2Duo 2.13GHz以上)
メモリ	1GB 以上(推奨:2GB以上)
HDD空き容量	45GB以上(測定期間に左右されます)

モニタ解像度	1024 x 768 以上
必要デバイス	表示灯を使う場合は、空きUSBポート1箇所
必須コンポーネント	.NET Framework 4 以上 SAP Crystal Reports Runtime Engine for .NET Framework 4.0

「日報アプリケーション e-DamWin with SSE <騒音振動>」のインストール

1. CD-ROMドライブに「e-DamWin with SSE <騒音振動>」のCD-ROMを挿入します。

2. 通常は、そのままお待ちいただければ自動でインストールが開始されます。

インストールが開始されない場合は、マイコンピュータからCD-ROMをダブルクリックして直接起動してください。

4. インストールされていない場合は、必須コンポーネントのインストールが開始されます。

5. e-DamWinのインストールが開始されます。

※詳細な手順は付属のインストールマニュアルを参照してください。

現場管理

現場管理画面

① 現場管理画面

現場情報の登録、選択、削除を行います。

初回起動時、またはメイン画面から【現場情報】をクリックすることで表示されます。

①	新しい現場を登録	新しく現場を登録するためのダイアログが開きます。
②	選択	クリックした現場の測定値を表示します。
③	編集	現場名の編集をします。
④	削除	選択した現場を削除します。
⑤	現場名	登録した現場名が表示されます。
⑥	設置場所設定	現場に設置した測定器の登録を行います。
⑦	閉じる	現場管理画面を閉じます。

現場管理

設置場所設定画面

② 設置場所の設定

現場に対して測定場所の登録を行います。

現場管理画面から、【設置場所設定】ボタンをクリックすることでこの画面へ移動します。

〇〇〇県△△△市××××丁目 - 設置場所設定

設置場所設定
新しい設置場所を登録 ①

	選択			設置場所名	製品名	シリアル番号	▲ 測定開始日	測定終了日
削除	<input checked="" type="checkbox"/>	編集	データ削除	北側作業場付近	騒音振動(SSE)	05000	2013年03月01日	
削除	<input checked="" type="checkbox"/>	編集	データ削除	東側作業場付近	騒音振動(SSE)	05001	2013年03月01日	
削除	<input checked="" type="checkbox"/>	編集	データ削除	南側作業場付近	騒音振動(SSE)	05002	2013年03月01日	
削除	<input checked="" type="checkbox"/>	編集	データ削除	西側作業場付近	騒音振動(SSE)	05003	2013年03月01日	

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑪ 閉じる

①	新しい設置場所を登録	新規に設置場所の登録を行います。
②	削除	選択した設置場所を削除します。
③	選択	設置場所の表示／非表示の切り替えを行います。
④	編集	設置場所の登録内容の編集を行います。
⑤	データ削除	設置場所の測定データの削除を行います。
⑥	設置場所名	設置場所名が表示されます。
⑦	製品名	設置場所の製品名が表示されます。
⑧	シリアル番号	設置場所の製品のシリアル番号が表示されます。
⑨	測定開始日	設置場所の測定開始日が表示されます。
⑩	測定終了日	設置場所の測定終了日が表示されます。未定の場合は空白になります。
⑪	閉じる	設置場所設定ボタンを閉じます。

現場管理

現場情報登録手順

■ 現場情報登録の手順 ■

1. 現場管理画面から、現場情報を登録します。

初回起動、またはメイン画面から【現場情報】をクリックし、現場管理画面へ移動します。

【新しい現場を登録】ボタンをクリックすると下図の画面が開きます。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled '新しい現場を登録' (Register New Site). Inside the dialog, there is a label '現場名' (Site Name) followed by a text input field. At the bottom right of the dialog, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '決定' (OK).

現場名(日本語入力可、64文字まで)を入力し、【決定】をクリックすると現場管理画面へ登録されます。

【キャンセル】をクリックした場合には何も登録されません。

※ 【現場名】はそのまま保存フォルダ名になるため、フォルダ名に使えない文字は入力できません。

(例:半角の?<>*などは現場名に使用できません。)

※ 大文字／小文字のみの違いによる現場名は「同一名」と判断し、重複エラーとなります。

(例:「GENBA」と「genba」で登録した場合、後に登録したものは重複エラーとなります。)

現場管理

現場情報登録手順

2. 現場管理画面から、設置場所を設定します。

登録を行う現場の【設置場所設定】ボタンをクリックし、設置場所設定画面を開きます。

①	設置場所名	設置場所を入力してください。日本語入力可、32文字まで [必須]
②	製品名	設置した測定器の製品を選択してください。
③	シリアル番号	5桁の測定器シリアル番号のうち、下3桁を入力してください。 [必須] ※上2桁は製品毎に違い固定となります。
④	開始日	日付を指定してください。 [必須]
⑤	終了日	日付を指定してください。不明な場合は「未定」にチェックをします。 [必須]
⑥	カスタム設定	製品毎のカスタム設定です。 SSEは振動Y軸、振動X軸の表示/非表示を選択できます。 この設定は、以下の測定値の確認画面に対してのみ有効となります。 <ul style="list-style-type: none">・マルチマップ・瞬時値グラフ・瞬時値数値・演算値グラフ・演算値数値 ※デフォルトは「表示しない」になっています。 ※SSCにはカスタム設定はありません

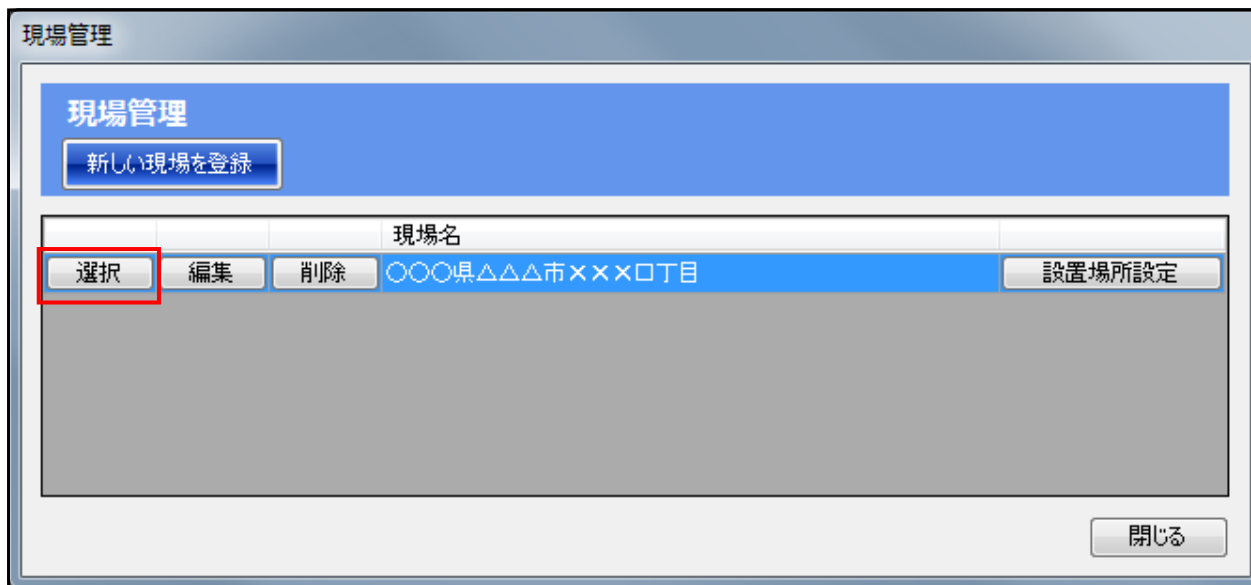
3. 上記、【設置場所編集】画面の全ての項目を入力します。

4. 【決定】ボタンをクリックし、設置場所を登録すると現場管理画面の一覧に表示されます。

現場管理

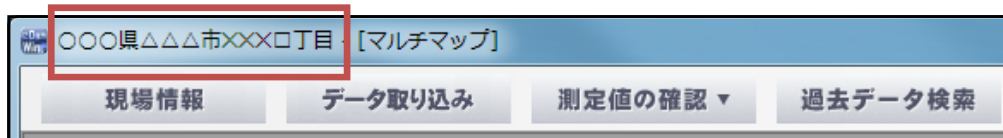
現場情報登録手順

5. 登録した現場を「現場管理画面」の一覧から選んで、【選択】ボタンをクリックするとメイン画面が表示されます。



以上で、現場情報の登録は完了です。

選択した現場名がメイン画面のウィンドウのタイトル部分に表示されます。



現場管理

データ削除画面

③ データ削除画面

設置場所設定画面にて、設置場所のデータ削除のボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

データ削除 - [〇〇〇県△△△市×××〇丁目 - 東〇入口] ①

☒ 日付と時刻で範囲を指定して削除

範囲

2010/03/03 (水) 時 分00秒から ②

2010/03/03 (水) 時 分59秒まで

☐ 日付一覧から選択して削除

日付一覧

③

2010年03月03日
2010年03月04日
2010年03月05日
2010年03月06日
2010年03月07日
2010年03月08日
2010年03月09日
2010年03月10日
2010年03月11日
2010年03月12日
2010年03月13日
2010年03月14日
2010年03月15日

④ 削除

閉じる

①	現場名・設置場所名	データ削除対象となる現場名・設置場所名が表示されます。
②	日付範囲	上下の日付で範囲となるよう指定します。
③	日付一覧	対象設置場所に保存されている測定データの日付が表示されます。
④	削除	データ削除を実行します。

■ データ削除の手順 ■

1. 日付と時刻で範囲を指定して削除

【日付と時刻で範囲を指定して削除】をチェックします。

削除する日付を【日付範囲】で範囲になるように指定し、【削除】ボタンをクリックします。

時刻を指定するため、10分単位でのデータ削除が可能です。

2. 日付一覧から選択して削除

【日付一覧から選択して削除】をチェックします。

削除する対象の日付を【日付一覧】からチェックし、【削除】ボタンをクリックします。

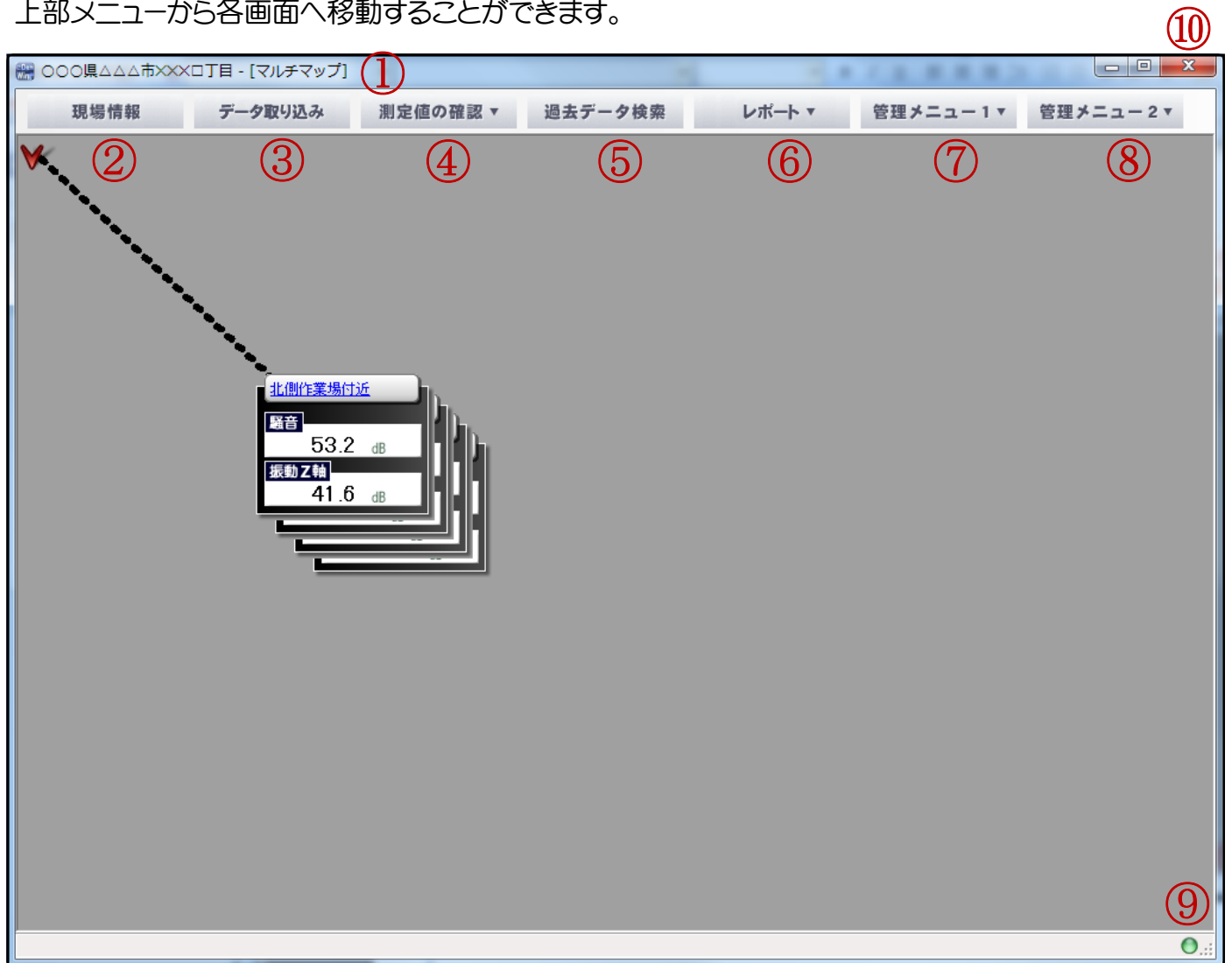
日付で指定するため、1日単位でのデータ削除が可能です。

メイン画面




① メイン画面

本アプリのメインとなる操作画面です。

上部メニューから各画面へ移動することができます。



メイン画面

①	現場名	選択している現場名が表示されます。
②	現場情報	現場管理画面へ移動します。
③	データ取り込み	データ取り込み画面へ移動します。
④	測定値の確認	マウスカーソルをボタンに合わせるとサブメニューが開きます。 マルチマップや、各測定器のデータを閲覧することができます。
⑤	過去データ検索	過去データ検索画面へ移動します。
⑥	レポート	マウスカーソルをボタンに合わせるとサブメニューが開きます。 日報と月報のどちらかを選択して、レポートを出力することができます。
⑦	管理メニュー1	マウスカーソルをボタンに合わせるとサブメニューが開きます。 マルチマップの表示や、測定値の表示画面の色変更などを行うことができます。
⑧	管理メニュー2	マウスカーソルをボタンに合わせるとサブメニューが開きます。 警報灯の接続設定や、メール送信などの設定を行うことができます。
⑨	通信状態	通信状態を表します。  灰色: 停止状態  赤: 待機中  緑: 通信中
⑩	閉じる	本アプリの終了を行います。

※e-DamWinは、e-DamWin終了時の状態を保存し、次回起動時には前回終了時の画面で起動します。

データ取り込み

① データ取り込み

メイン画面の【データ取り込み】ボタンをクリックすると、データ取り込み画面が開きます。

SDカードへ保存した測定データを本アプリへインポートするための機能です。

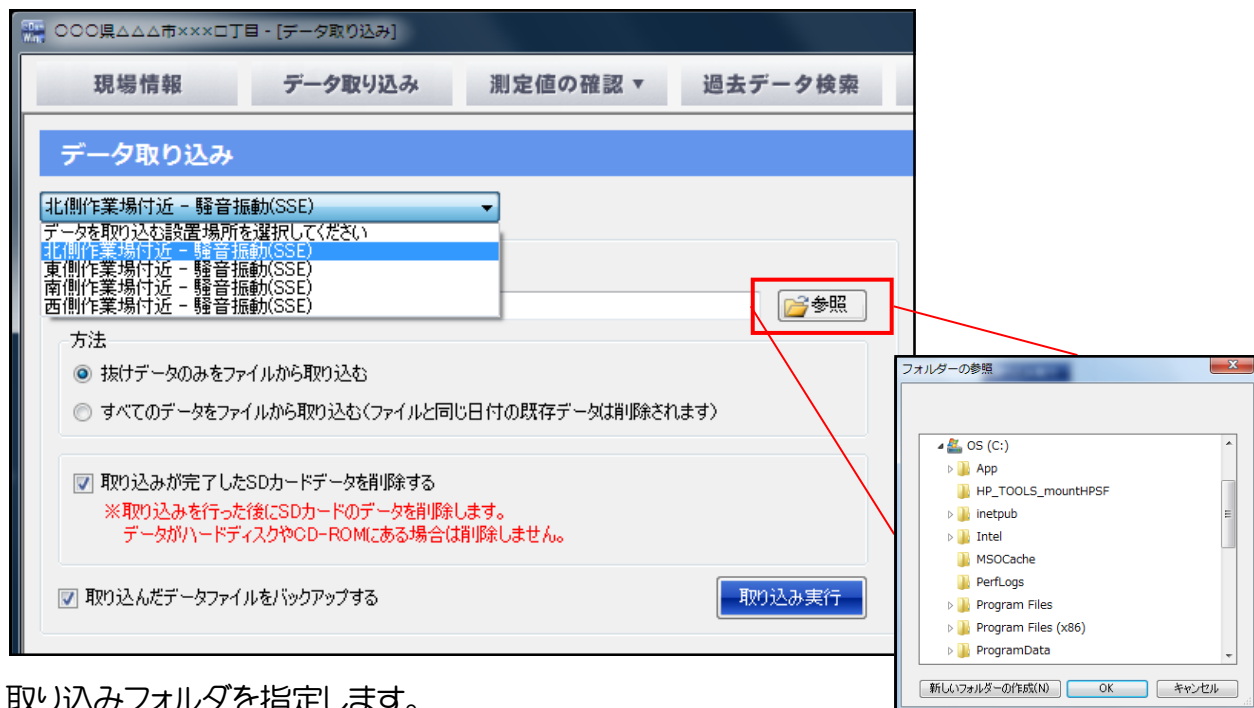
①	設置場所選択	データの取り込みを行う対象の設置場所を選択します。
②	フォルダ指定パス	インポート元となるデータフォルダのパスを指定します。 【参照】ボタンからの指定も行えます。
③	参照	フォルダを選択するためのダイアログが表示されます。
④	データのインポート方法	データの取り込み方法を選択します。
⑤	取り込みが完了したSDカードデータを削除する	取り込みを行った後にSDカードのデータを削除します。
⑥	取り込んだデータファイルをバックアップする	取り込みを行った後にSDカードのデータをHDDにバックアップします。
⑦	取り込み実行	データの取り込みを実行します。

データ取り込み

■ データ取り込みの手順 ■

1. データインポートを行う設置場所を選択します。

現場に設置されている測定器の数によって複数表示されることもあります。



2. 取り込みフォルダを指定します。

テキストフィールドに直接入力するか、【参照】ボタンをクリックしてファイルダイアログを表示し、そのダイアログから対象のフォルダを選択することでディレクトリパスを指定します。

3. データのインポート方法を指定します。

【**抜けデータのみをファイルから取り込む**】を指定した場合、抜けデータがないかをアプリで調査し、抜けデータが存在した日付のみデータの取り込みを行います。すでにデータが存在している場合はインポートは行いません。

【**すべてのデータをファイルから取り込む**】を指定した場合、測定器のデータが存在した場合は全て上書きを行い、すべてのデータの取り込みを行います。

**測定器の設置期間外のデータが含まれていた場合、そのデータ読み込みは行いません。
終了日が未定の場合は、現在までの抜けデータを調査します。**

4. 取り込み完了後にSDカードデータを削除するか、削除しないかを指定します。

※初期状態では「**削除する**」になっています

5. 取り込み完了後にSDカードデータのバックアップをHDD内に保存するか、しないかを指定します。

※初期状態では「**バックアップする**」になっています

※バックアップデータの保存先につきましては、「データのバックアップ、復元」のページを参照してください。

測定値の確認

マルチマップ

① マルチマップ

メイン画面から【測定値の確認】をクリックし、サブメニューから【マルチマップ】をクリックすることで移動します。

現場に登録されている「複数の測定器」の測定値を1つの画面で確認することができます。

登録されている測定器や、数によって表示が異なります。



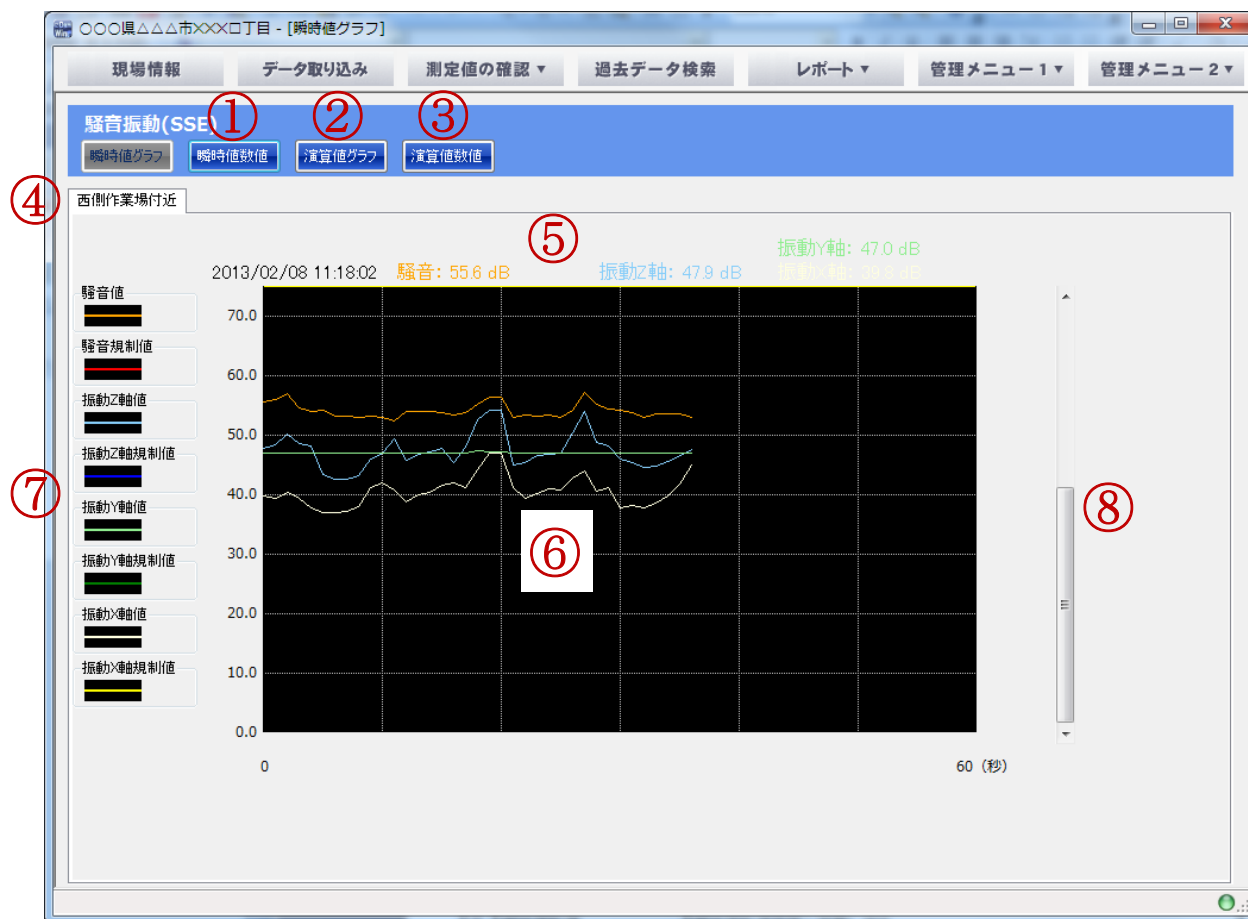
①	測定器情報表示ウィンドウ	設置場所名とその機器の測定値が表示されます。 【設置場所名】のリンクをクリックすると、各機器の測定値を表示する画面へ移動します。 マウストラッグで移動させることができます。
②	ポインタ	測定器情報表示ウィンドウから伸ばすことができ、実際の地点を指し示すことができます。 マウストラッグで移動させることができます。

測定値の確認

騒音振動(SSE) – 瞬時値グラフ画面

① 瞬時値グラフ画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSE)】→【瞬時値グラフ】と選択することによって移動します。測定した値をリアルタイムでグラフへ反映する画面です。



①	瞬時値数値	瞬時値数値画面へ移動します。
②	演算値グラフ	演算値グラフ画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	測定値	直近に受信したデータを表示します。
⑥	グラフエリア	受信したデータからグラフを表示します。
⑦	グラフ色表示	それぞれの種類ごとのデータを表示するグラフの色を示しています。
⑧	グラフエリアスクロールバー	グラフエリアを上下にスクロールさせることができます。

※振動Y軸、X軸は、設置場所設定で「表示/非表示」を選択する事ができます。

測定値の確認

騒音振動(SSE) - 瞬時値数値画面

② 瞬時値数値画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSE)】→【瞬時値グラフ】と選択することによって移動します。測定した値をリアルタイムで数値表示する画面です。



①	瞬時値グラフ	瞬時値グラフ画面へ移動します。
②	演算値グラフ	演算値グラフ画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	測定値表示エリア	機器の測定データが表示されます。

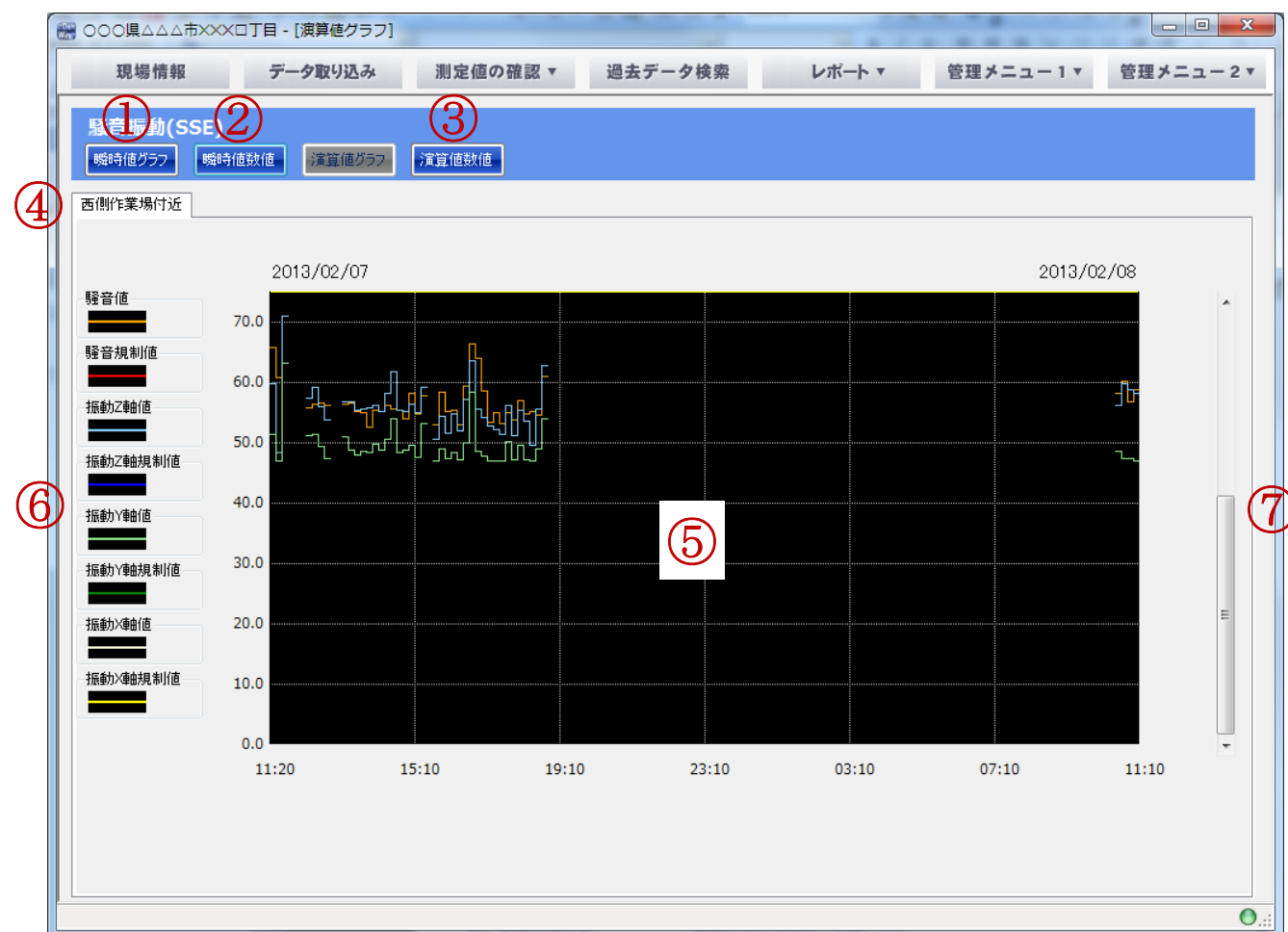
※振動Y軸、X軸は、設置場所設定で「表示/非表示」を選択する事ができます。

測定値の確認

騒音振動(SSE) – 演算値グラフ画面

③ 演算値グラフ画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSE)】→【演算値グラフ】と選択することによって移動します。各測定値の演算値をグラフ表示にて確認することができます。



①	瞬時値グラフ	瞬時値グラフ画面へ移動します。
②	瞬時値数値	瞬時値数値画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	グラフエリア	受信したデータからグラフを表示します。
⑥	グラフ色表示	それぞれの種類ごとのデータを表示するグラフの色を示しています。
⑦	グラフエリアスクロールバー	グラフエリアを上下にスクロールさせることができます。

※振動Y軸、X軸は、設置場所設定で「表示/非表示」を選択する事ができます。

測定値の確認

騒音振動(SSE) - 演算値数値画面

④ 演算値数値画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSE)】→【演算値数値】と選択することによって移動します。各測定値の演算値を数値にて確認することができます。



①	瞬時値グラフ	瞬時値グラフ画面へ移動します。
②	演算値グラフ	演算値グラフ画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	測定値表示エリア	機器の測定データが表示されます。

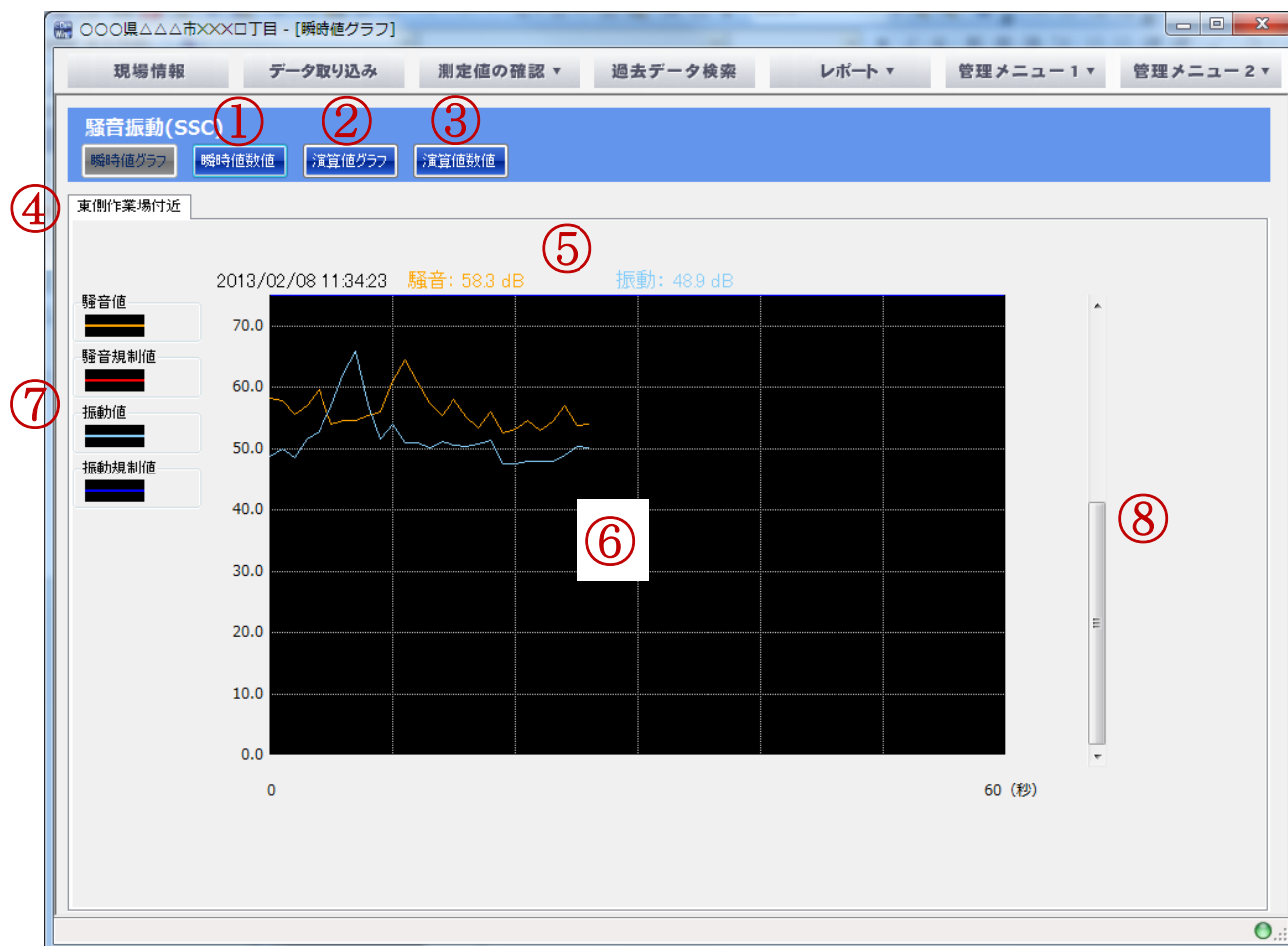
※振動Y軸、X軸は、設置場所設定で「表示/非表示」を選択する事ができます。

測定値の確認

騒音振動(SSC) – 瞬時値グラフ画面

① 瞬時値グラフ画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSC)】→【瞬時値グラフ】と選択することによって移動します。測定した値をリアルタイムでグラフへ反映する画面です。



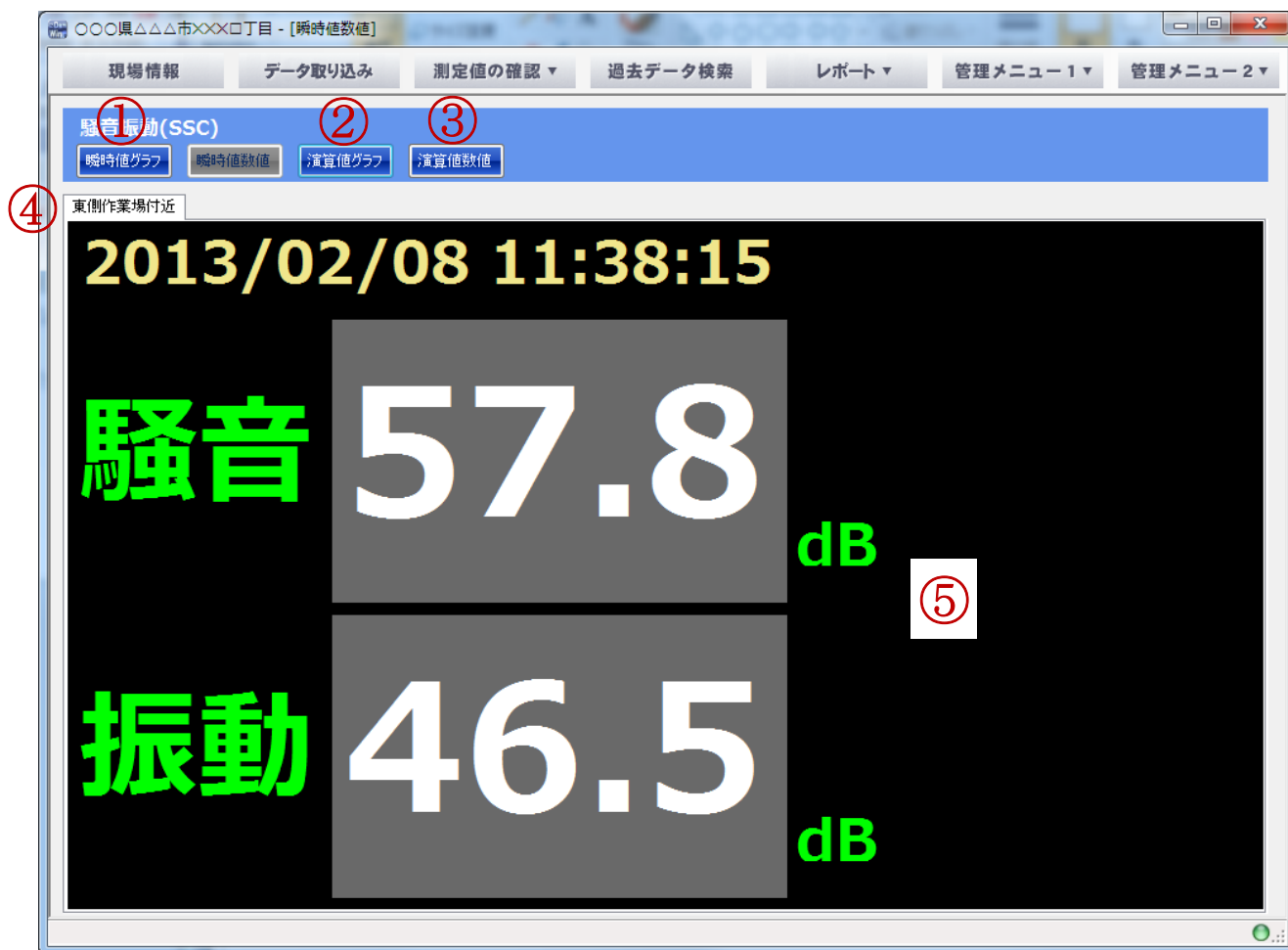
①	瞬時値数値	瞬時値数値画面へ移動します。
②	演算値グラフ	演算値グラフ画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	測定値	直近に受信したデータを表示します。
⑥	グラフエリア	受信したデータからグラフを表示します。
⑦	グラフ色表示	それぞれの種類ごとのデータを表示するグラフの色を示しています。
⑧	グラフエリアスクロールバー	グラフエリアを上下にスクロールさせることができます。

測定値の確認

騒音振動(SSC) — 瞬時値数値画面

② 瞬時値数値画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSC)】→【瞬時値グラフ】と選択することによって移動します。測定した値をリアルタイムで数値表示する画面です。



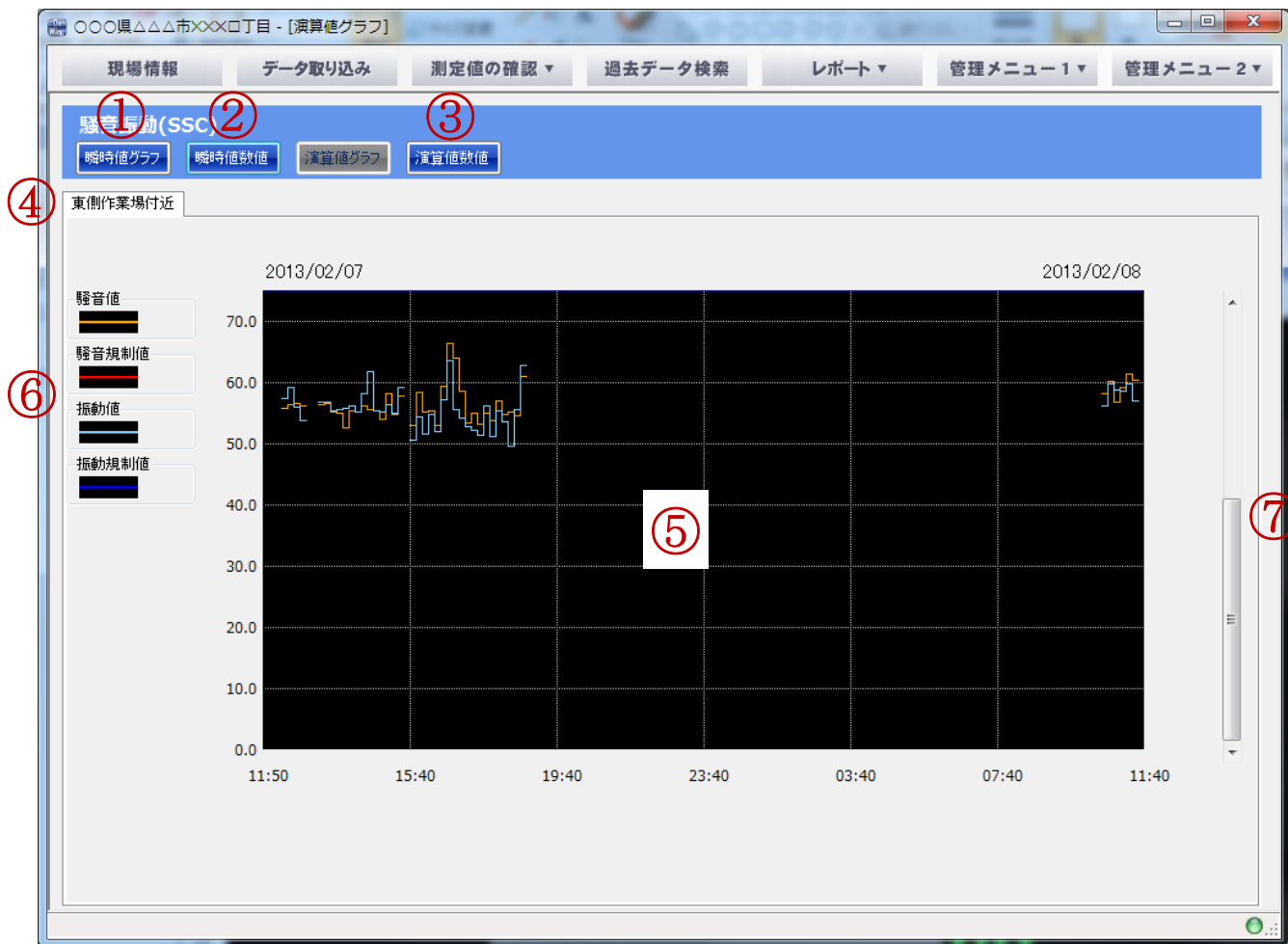
①	瞬時値グラフ	瞬時値グラフ画面へ移動します。
②	演算値グラフ	演算値グラフ画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	測定値表示エリア	機器の測定データが表示されます。

測定値の確認

騒音振動(SSC) – 演算値グラフ画面

③ 演算値グラフ画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSC)】→【演算値グラフ】と選択することによって移動します。各測定値の演算値をグラフ表示にて確認することができます。



①	瞬時値グラフ	瞬時値グラフ画面へ移動します。
②	瞬時値数値	瞬時値数値画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	グラフエリア	受信したデータからグラフを表示します。
⑥	グラフ色表示	それぞれの種類ごとのデータを表示するグラフの色を示しています。
⑦	グラフエリアスクロールバー	グラフエリアを上下にスクロールさせることができます。

測定値の確認

騒音振動(SSC) — 演算値数値画面

④ 演算値数値画面

メイン画面から【測定値の確認】を選択し、開いたサブメニューから【騒音振動(SSC)】→【演算値数値】と選択することによって移動します。各測定値の演算値を数値にて確認することができます。



①	瞬時値グラフ	瞬時値グラフ画面へ移動します。
②	演算値グラフ	演算値グラフ画面へ移動します。
③	演算値数値	演算値数値画面へ移動します。
④	設置場所切り替えタブ	現場に複数の同一機器が設置されているときに表示されます。 設置場所名のタブをクリックすることによって、その設置場所の測定値を表示する画面に切り替えることができます。
⑤	測定値表示エリア	機器の測定データが表示されます。

過去データ検索

日付指定

① 日付指定による検索

指定した日時のデータを検索し、該当日時のデータの表示を行います。

1. 検索条件を指定します。

① 日付指定 ② 2013/07/01 ③ 今日 → ④ 当日のみ

⑤ 特殊検索 選択してください → 設置場所 / 機材名を選択してください →

2. 表示項目を選択します。

⑥

北側作業場付近 - 騒音振動(SSE) 騒音 振動Z軸 振動Y軸 振動X軸

東側作業場付近 - 騒音振動(SSE) 騒音 振動Z軸 振動Y軸 振動X軸

南側作業場付近 - 騒音振動(SSE) 騒音 振動Z軸 振動Y軸 振動X軸

西側作業場付近 - 騒音振動(SSE) 騒音 振動Z軸 振動Y軸 振動X軸

3. 表示する順番を変更します。

設置場所名 - 機材名	表示項目
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	騒音 ⑦
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Z軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Y軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動X軸

⑧ 検索

①	日付検索	日付指定の検索を行う場合に指定します。
②	日付指定	検索を行う日時を指定します。
③	今日	日付指定の日にちを今日に指定します。
④	複数日付の指定	②で指定した日付から複数の日付を指定して検索できます。
⑤	特殊検索	日時指定の検索では使用しません。
⑥	表示項目	該当機器のどの項目を表示するかを指定します。(複数選択可)
⑦	表示順番	指定された表示項目をどの順番で表示するかを指定します。 設置場所名の左側のチェックボックスをクリックすることで全ての項目を指定できます。
⑧	検索	指定された条件で過去データの検索を行います。

過去データ検索

日付指定

■ 日時指定の手順 ■

1. 検索対象とする【日時】を指定します。

日時が入力されているフィールドをクリックすると、以下のような日付選択用の画面が表示されます。




日付をクリックすると、該当の日付が「過去データ検索画面」に表示されます。

過去データが存在する場合、その日時は「黄色い■」で囲まれて表示されます。

※すべての設置場所の過去データが対象となります

2. 【表示項目】にて、どの項目を表示するかを選択します。(複数選択可)

複数日に渡って検索を行いたい場合は、その日数を指定します。(1日～7日まで)

3. 複数の項目を表示する場合、【表示順番】で位置をドラッグすることで順番を変更することができます。
一番左の項目の  をドラッグすることで変更できます。

3. 表示する順番を変更します。

設置場所名 - 機材名	表示項目
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	騒音
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Z軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Y軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動X軸

3. 表示する順番を変更します。

↓

設置場所名 - 機材名	表示項目
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	騒音
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Z軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Y軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動X軸

3. 表示する順番を変更します。

↓

設置場所名 - 機材名	表示項目
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	騒音
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Y軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動X軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Z軸

3. 表示する順番を変更します。

↓

設置場所名 - 機材名	表示項目
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	騒音
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Y軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動X軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Z軸

4. 【検索】ボタンをクリックすると、指定された条件で過去データの検索を行います。

お使いのPCの性能によっては、検索結果の表示までに時間がかかることがあります。

過去データ検索

日付指定

5. 検索されたデータの表示を行います。



※日付指定の検索結果初期表示は10分演算グラフとなります

①	日付	検索で指定した日時が表示されます。
②	時刻	カーソルで示されている時刻を表示します。
③	測定値	カーソルで示されている測定値を表示します。
④	表示情報切り替え	吹き出しで表示されている情報の切り替えを行います。
⑤	グラフエリア	検索で指定した日時のデータのグラフが表示されます。 ドラッグすることでグラフエリアの表示を上下に移動させることもできます。
⑥	カーソル	左右にドラッグすることで、その【時刻】に対しての【測定値】を表示することができます。 複数日の検索の場合、カーソルをドラッグすることはできません。
⑦	表示領域変更	バーをクリックすることでグラフエリアの拡大／縮小を交互に行えます。
⑧	CSV出力	検索結果のデータをCSVにて出力します。
⑨	演算タイプ	演算タイプを【瞬時値】、【1分演算】、【10分演算】、【60分演算】から指定します。 指定したタイプにより検索結果画面が更新されます。
⑩	画面印刷	当検索結果画面をそのまま印刷します。

過去データ検索

特殊検索

② 条件指定による特殊検索

過去データ検索では、日時による指定のほかに、条件による検索が行えます。

過去データ検索

1. 検索条件を指定します。

① 日付指定 2013/01/01 今日 → 3日間 ④

② 特殊検索 北側作業場付近 - 騒音振動(SSE) → 【騒音】が最大だった日付 → 上位1日のみ ⑤

2. 表示項目を選択します。

⑥

北側作業場付近 - 騒音振動(SSE) ☒ 騒音 ☒ 振動Z軸 ☒ 振動Y軸 ☒ 振動X軸

東側作業場付近 - 騒音振動(SSE) ☐ 騒音 ☐ 振動Z軸 ☐ 振動Y軸 ☐ 振動X軸

南側作業場付近 - 騒音振動(SSE) ☐ 騒音 ☐ 振動Z軸 ☐ 振動Y軸 ☐ 振動X軸

西側作業場付近 - 騒音振動(SSE) ☐ 騒音 ☐ 振動Z軸 ☐ 振動Y軸 ☐ 振動X軸

3. 表示する順番を変更します。

設置場所名 - 機材名	表示項目
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	騒音
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Z軸 ⑦
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動Y軸
北側作業場付近 - 騒音振動(SSE)	振動X軸

⑧ 検索

①	日付指定	特殊検索では使用しません。
②	特殊検索	特殊検索を使用する場合はこちらを選択します。
③	設置場所	どの設置場所のデータを検索対象にするかを選択します。
④	検索条件	指定された設置場所の検索条件を指定します。
⑤	検索対象日数	指定された検索条件を満たしたデータの対象日数を指定します。 対象日数は1～5日間から指定出来ます。
⑥	表示項目	該当機器のどの項目を表示するかを指定します。(複数選択可) 検索条件で指定された項目は自動的に選択され、赤字で表示されます。 設置場所名の左側のチェックボックスをクリックすることで全ての項目を指定できます。
⑦	表示順番	指定された表示項目をどの順番で表示するかを指定します。
⑧	検索	指定された条件で過去データの検索を行います。

過去データ検索

特殊検索

■ 特殊検索の手順 ■

1. 特殊検索を指定します。

2. 設置場所を指定します。

【特殊検索】の左のコンボボックスから、検索対象とする設置場所を選択します。

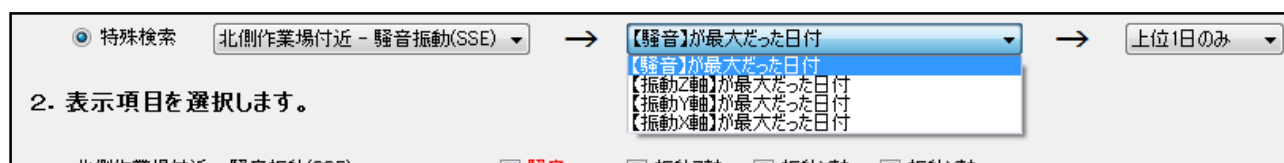
表示される内容は、現場に登録されている設置場所によって変動します。



3. 検索条件を指定します。

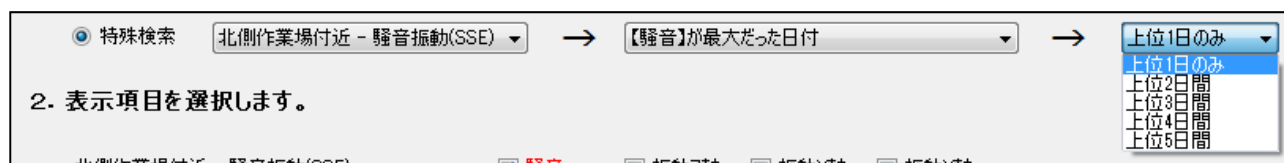
【特殊検索】の中央のコンボボックスから、検索条件を選択します。

手順2で指定した設置場所によって検索条件は変動します。



4. 対象日数を指定します。

【検索条件】の右のコンボボックスから、検索条件を選択します。



5. 【表示項目】にて、どの項目を表示するかを選択します。(複数選択可)

検索条件で指定した項目については、自動的に表示項目に設定され、**赤い字**で表示されます。

6. 複数の項目を表示する場合、【表示順番】で位置を変更することができます。

操作手順は日時検索と同様にドラッグにて順番の入れ替えを行います。(25ページ参照)

7. 【検索】ボタンをクリックすると、指定された条件で過去データの検索を行います。

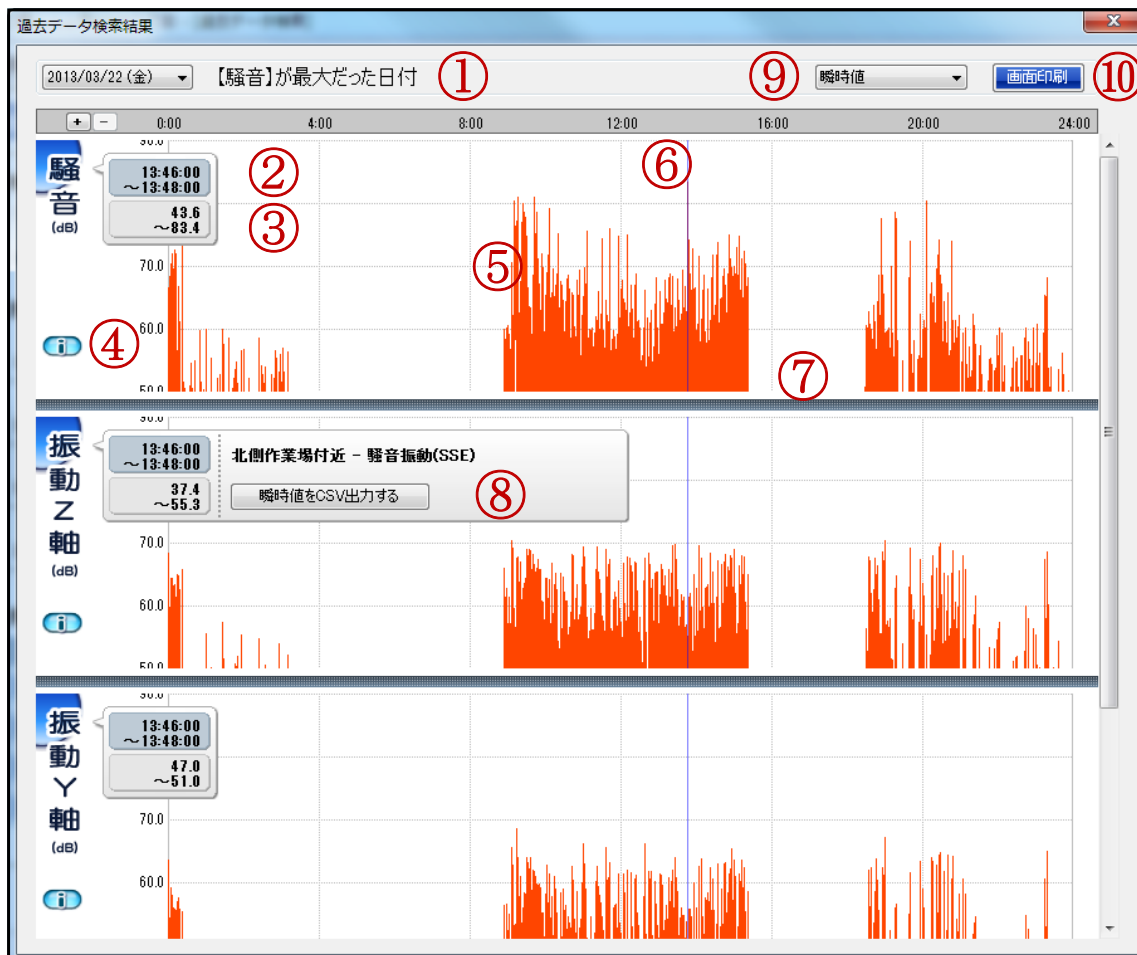
※特殊検索の条件である「最大」「最小」等は、瞬時値を対象としています。

お使いのPCの性能によっては、検索結果の表示までに時間がかかることがあります。

過去データ検索

特殊検索

8. 検索されたデータの表示を行います。



※特殊検索の検索結果初期表示は瞬時値グラフとなります

①	日付、検索条件	特殊検索で指定した条件と、その条件に合致する「日時」が表示されます。
②	時刻	カーソルで示されている時刻を表示します。
③	値	カーソルで示されている測定値を表示します。
④	表示情報切り替え	吹き出しで表示されている情報の切り替えを行います。
⑤	グラフエリア	検索で指定した日時のデータのグラフが表示されます。 ドラッグすることでグラフエリアの表示を上下に移動させることもできます。
⑥	カーソル	左右にドラッグすることで、その【時刻】に対しての【測定値】を表示することができます。
⑦	グラフエリア 拡大/縮小バー	バーをクリックすることでグラフエリアの拡大/縮小を交互に行えます。
⑧	CSV出力	検索結果のデータをCSVにて出力します。
⑨	演算タイプ	演算タイプを【瞬時値】、【1分演算】、【10分演算】、【60分演算】から指定します。 指定したタイプにより検索結果画面が更新されます。
⑩	画面印刷	当検索結果画面をそのまま印刷します。

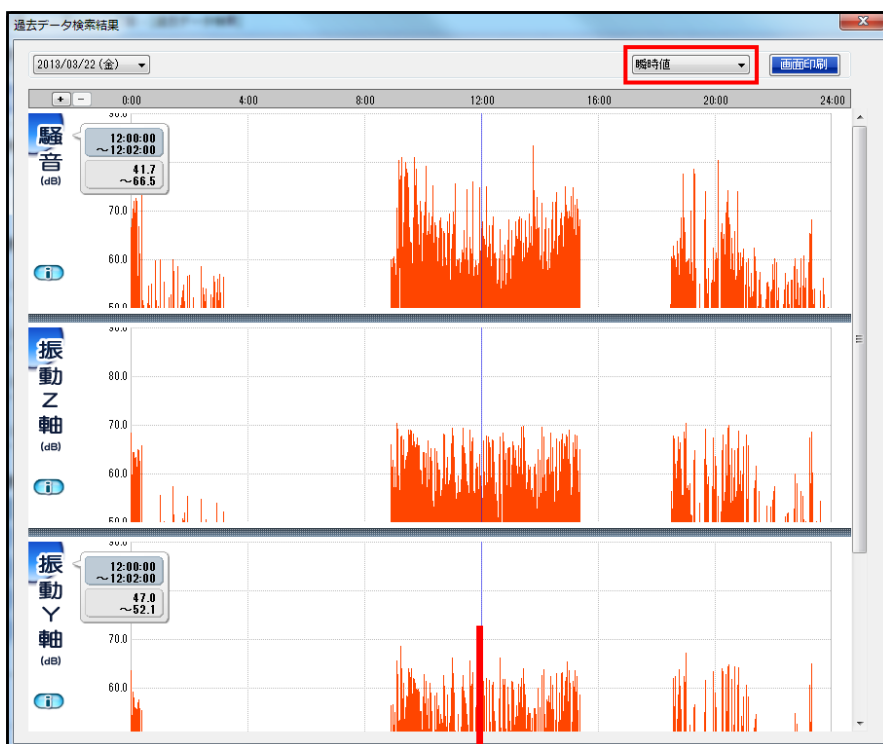
過去データ検索

過去データ検索結果画面の操作

■ 過去データ検索結果画面の操作 ■

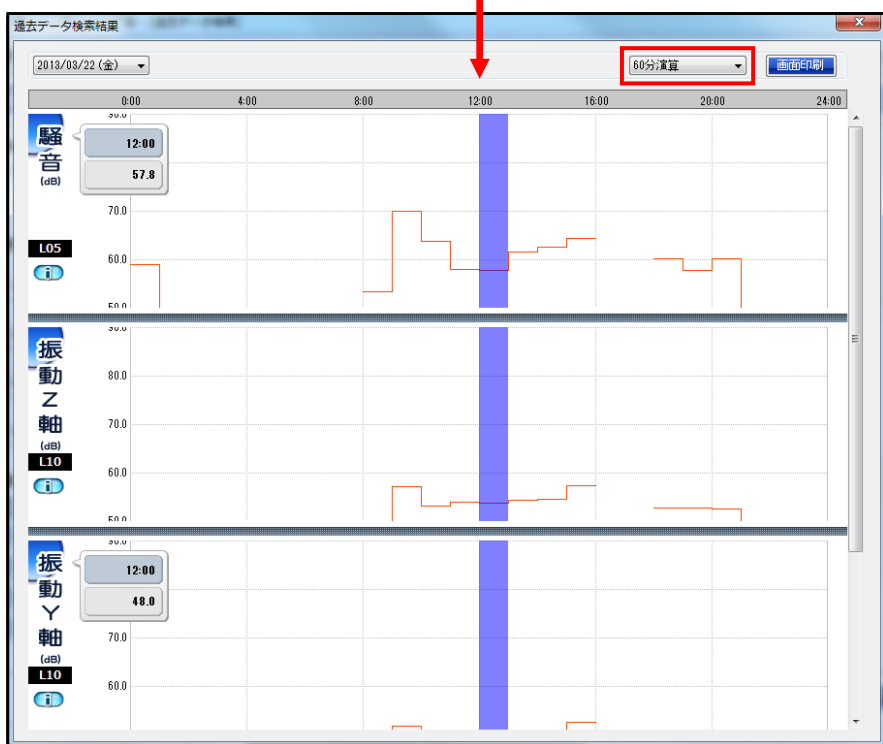
1. 演算タイプの変更

【演算タイプ】を画面右上のコンボボックスから指定することによって、グラフの表示を切り替えることができます。



例) 瞬間値→60分演算

瞬間値



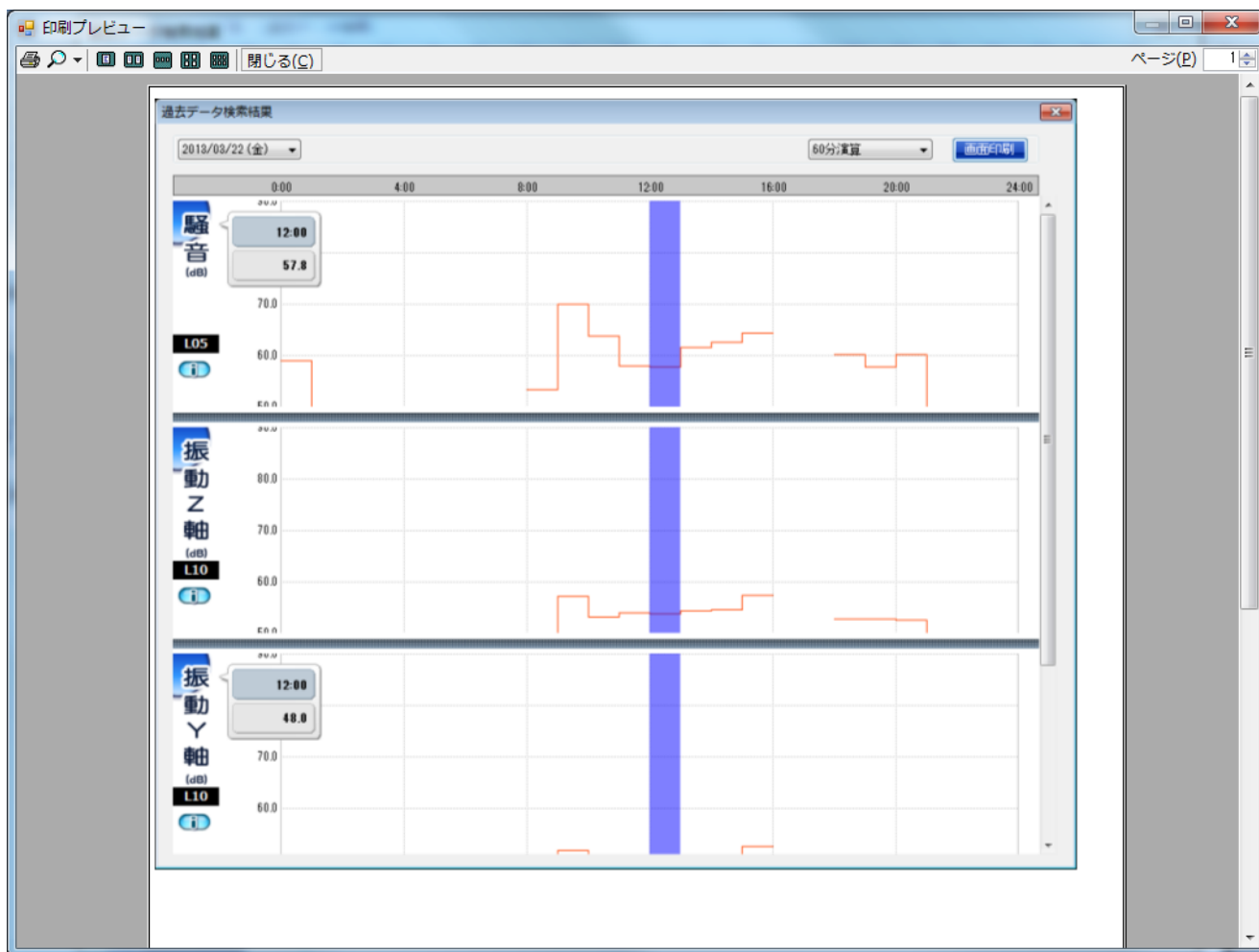
60分演算

過去データ検索

過去データ検索結果画面の操作

2. 画面印刷

【画面印刷】ボタンをクリックすることで、検索結果画面そのままのイメージを印刷することができます。



過去データ検索


過去データ検索結果画面の操作

3. カーソルの移動

カーソルは左右にドラッグすることでグラフ内を移動することができます。

バーの上にマウスポインタを置くと、のようにマウスポインタの画像が変化します。

マウスポインタがこの状態の場合に、左クリックを押すことで、カーソルをドラッグすることができます。

ドラッグをするとマウスポインタの画像が  となり、カーソルを左右に移動させることができます。

また、キーボードの矢印キー(←、→)押下により、カーソルを移動することもできます。

※ 複数日付を指定した過去データ検索では、キーボードの「←」「→」キーでグラフの移動を行うことができます。

4. グラフスクロール

グラフ上でのマウสดラッグにより、グラフの上下スクロールを行うことができます。

5. グラフエリア拡大/縮小

グラフ下部のバーをクリックすることにより、グラフエリアの拡大/縮小を行うことができます。

6. 表示情報切り替えボタン

【表示情報切り替え】ボタン  をクリックすることで、吹き出しの情報表示を変えることができます。

「表示なし」、「通常表示」、「詳細表示」の3種類があり、クリックするたびに切り替わります。



また、詳細表示ではデータエクスポートボタンがあり、このボタンをクリックすることで検索したデータをCSVファイルへ出力することができます。

過去データ検索

過去データ検索結果画面の操作

7. ズーム

瞬時値、1分演算値グラフは「+」、「-」ボタンにより、グラフの時間幅の拡大縮小をする事が出来ます。



「+」ボタンクリックで拡大、「-」ボタンクリックで縮小されます。

	「+」ボタンクリックによる拡大	「-」ボタンクリックによる縮小
01分演算	24時間レンジ ↓ 60分レンジ	60分レンジ ↓ 24時間レンジ
瞬時値	24時間レンジ ↓ 60分レンジ ↓ 06分レンジ	06分レンジ ↓ 60分レンジ ↓ 24時間レンジ

「+」ボタンで拡大中の際、「+」、「-」ボタンの左右には、グラフ移動のボタン「<<」、「>>」が表示されます。



このボタンにより、表示されているグラフの時間軸(横軸)を時間レンジ単位で変更する事が出来ます。

また、拡大中にCSV出力した場合は、表示中の時間レンジのデータのみが出力されます。

※特殊検索時の拡大中に「<<」、「>>」により、時間レンジを変更した場合、カーソルは特殊検索条件の時間から外れます。

8. 日付変更

特殊検索の条件設定時、対象日数を2日間以上指定した場合、グラフに表示されている対象日付を変更する事が出来ます。



レポート

日報

① 日報出力

メインメニューの【レポート】から、【日報】をクリックするとこの画面へ移動します。

製品
騒音振動(SSE) ①

設置場所
北側作業場付近 ②
東側作業場付近
南側作業場付近
西側作業場付近

測定日 2013/03/01(月) ~ 2013/04/01(月) 印刷日を出力する

時間帯 10:00 ~ 24:00 ④

特記事項 ⑤

演算タイプ
10分演算
1時間演算

表示振動方向
Z軸
Y軸
X軸

グラフ表示項目
騒音値 L05
振動値 Lv10

グラフレンジ
20~100dB

【表示する順番を変更します】
設置場所名
北側作業場付近 ⑦

OK ⑧

①	製品選択	レポートを出力する製品を選択します。
②	設置場所	該当製品の設置場所名が一覧で表示されます。複数ある場合は複数表示されます。
③	測定日	レポートを出力する測定日を指定します。
④	時間帯	レポートを出力する時間帯を指定します。
⑤	特記事項	特記事項を入力します。(省略可)
⑥	レポートの設定	レポートの作成に必要な情報の設定を行います。 選択された製品により、設定を行う項目が異なります。
⑦	表示順番	レポートに表示する設置場所の順番の変更ができます。
⑧	OK	指定された条件で日報を出力します。

レポート

日報

■ 日報出力の手順 ■

1. 日報を出力する製品を【製品一覧】から選択します。



2. 日報を出力する【設置場所】を一覧よりクリックで指定します。(複数指定可)

3. 日報を出力する【測定日】を入力フィールドよりクリックで選択します。

クリックすると、以下のようなウィンドウが表示され日付を選択することができます。

黄色の■で囲まれている日付は該当日付の測定データが存在していることを意味します。



4. 日報の出力対象とする【時間帯】を指定します。


指定時刻は【開始時刻】よりも【終了時刻】が後ろである必要があります。

「22:00～06:00」のような日をまたいだ設定は行えません。

5. 【特記事項】が必要であれば入力します。入力の省略も可能です。

6. 日報の【レポート設定】を設定します。

※設定する項目は選択した製品により異なります。

7. 必要であれば、【表示順番】の位置をドラッグすることでレポートに出力する順番を変更することができます。一番左の項目の  をドラッグすることで変更できます。

8. 【OK】をクリックすると日報が出力されます。

※設定した内容は自動的に保存され、次回、日報メニューを開いた際には以前保存された内容を反映した状態で開きます。

お使いのPCの性能によっては、表示までに時間がかかることがあります。

レポート

日報 - 騒音振動(SSE)

騒音振動(SSE)

騒音振動(SSE)のレポートでは、以下の設定項目があります。

・10分演算選択時

The screenshot shows a settings window for the SSE report. It contains the following sections and settings:

- 演算タイプ (Calculation Type):** ① 10分演算 (selected), 1時間演算 (unselected).
- 表示振動方向 (Display Vibration Direction):** ④ Z軸 (selected), Y軸 (unselected), X軸 (unselected).
- グラフ表示項目 (Graph Display Item):** 騒音値 (Noise value) L05 (selected), 振動値 (Vibration value) Lv10 (selected). ②
- グラフレンジ (Graph Range):** 20~100dB (selected). ③

①	演算タイプ	表示する演算タイプを以下の項目から選択できます。 ・10分演算 ・1時間演算
②	グラフ表示項目	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・Leq ・Lmin ・Lmax ・L05(騒音値の規定値) ・L10(振動値の規定値) ・L50 ・L90 ・L95
③	グラフレンジ	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・0~80 ・10~90 ・20~100(規定値) ・30~110 ・40~120 ・50~130

レポート

日報 - 騒音振動(SSE)

④	表示振動方向	表示する振動軸を以下の項目から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">・Z軸・Y軸・X軸
---	--------	--

レポート

日報 - 騒音振動(SSE)

・1時間演算選択時

①	演算タイプ	表示する演算タイプを以下の3種類から選択できます。 ・10分演算 ・1時間演算
②	グラフ表示項目	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・Leq ・Lmin ・Lmax ・L05(騒音値の規定値) ・L10(振動値の規定値) ・L50 ・L90 ・L95
③	グラフレンジ	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・0~80 ・10~90 ・20~100(規定値) ・30~110 ・40~120 ・50~130

レポート

日報 - 騒音振動(SSE)

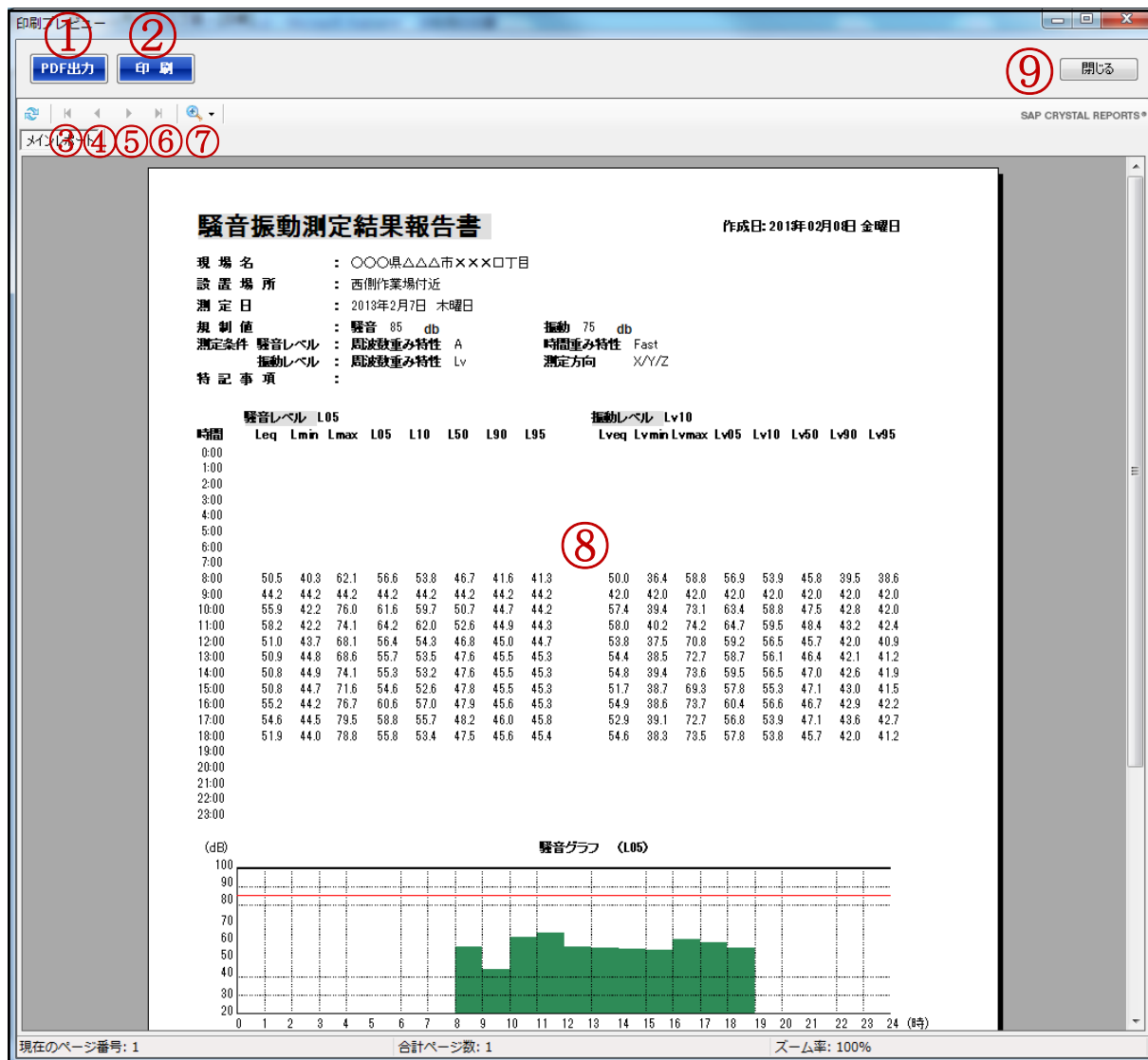
④	表示振動方向	表示する振動軸を以下の項目から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">•Z軸•Y軸•X軸
⑤	騒音データ表示	表示する騒音データを以下の項目から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">•Leq•Lmin•Lmax•L05(規定値)•L10•L50•L90•L95
⑥	振動データ表示	表示する振動データを以下の項目から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">•Lveq•Lvmin•Lvmax•Lv05•Lv10(規定値)•Lv50•Lv90•Lv95

レポート

日報 - 騒音振動(SSE)

② 日報出力イメージ

【OK】をクリックして日報を作成すると以下のような画面が表示されます。



①	PDF出力	レポートをPDFファイルにして出力します。
②	印刷	レポートを印刷します。
③	◀ ボタン	出力された複数レポートの最初のページへ戻ります。
④	◀ ボタン	出力された複数レポートの1つ前のページへ戻ります。
⑤	▶ ボタン	出力された複数レポートの1つ先のページへ進みます。
⑥	▶ ボタン	出力された複数レポートの最後のページへ進みます。
⑦	🔍 ボタン	出力されたレポートの拡大／縮小表示ができます。
⑧	レポート	本アプリより出力されたレポートイメージです。
⑨	閉じる	レポート画面を閉じます。

レポート

日報 - 騒音振動(SSC)

騒音振動(SSC)

騒音振動(SSC)のレポートでは、以下の設定項目があります。

・10分演算選択時

①	演算タイプ	表示する演算タイプを以下の項目から選択できます。 ・10分演算 ・1時間演算
②	グラフ表示項目	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・Leq ・Lmin ・Lmax ・L05(騒音値の規定値) ・L10(振動値の規定値) ・L50 ・L90 ・L95
③	グラフレンジ	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・0～80 ・10～90 ・20～100(規定値) ・30～110 ・40～120 ・50～130
④	表示振動方向	SSCはZ軸のみの対応となります。

レポート

日報 - 騒音振動(SSC)

・1時間演算選択時

①	演算タイプ	表示する演算タイプを以下の項目から選択できます。 ・10分演算 ・1時間演算
②	グラフ表示項目	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・Leq ・Lmin ・Lmax ・L05(騒音値の規定値) ・L10(振動値の規定値) ・L50 ・L90 ・L95
③	グラフレンジ	騒音値、振動値それぞれのグラフ値を以下の項目から選択できます。 ・0~80 ・10~90 ・20~100(規定値) ・30~110 ・40~120 ・50~130

レポート

日報 - 騒音振動(SSC)

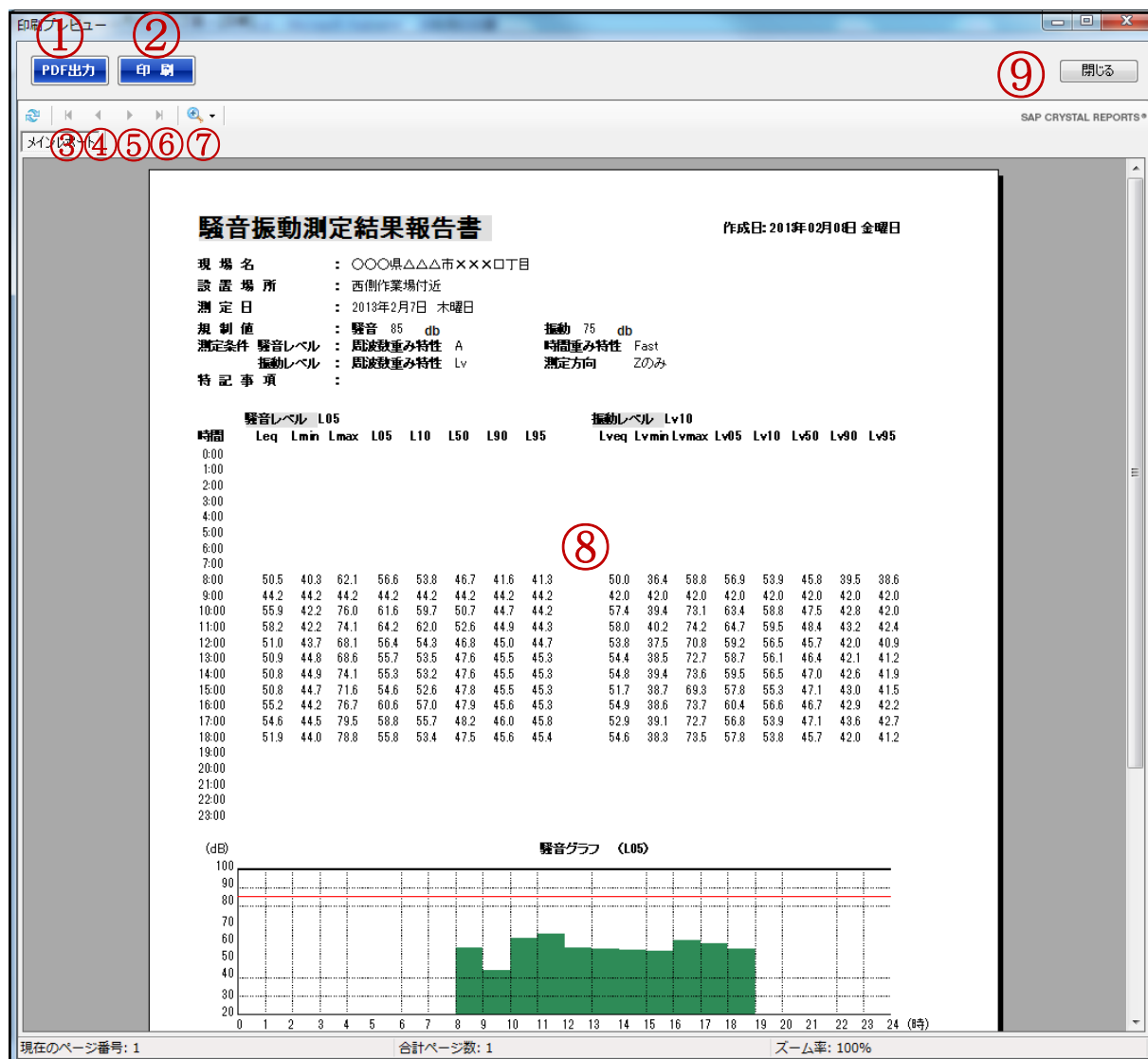
④	表示振動方向	SSCはZ軸のみの対応となります。
⑤	騒音データ表示	表示する騒音データを以下の項目から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">•Leq•Lmin•Lmax•L05(規定値)•L10•L50•L90•L95
⑥	振動データ表示	表示する振動データを以下の項目から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">•Lveq•Lvmin•Lvmax•Lv05•Lv10(規定値)•Lv50•Lv90•Lv95

レポート

日報 - 騒音振動(SSC)

② 日報出力イメージ

【OK】をクリックして日報を作成すると以下のような画面が表示されます。



①	PDF出力	レポートをPDFファイルにして出力します。
②	印刷	レポートを印刷します。
③	◀ ボタン	出力された複数レポートの最初のページへ戻ります。
④	◀ ボタン	出力された複数レポートの1つ前のページへ戻ります。
⑤	▶ ボタン	出力された複数レポートの1つ先のページへ進みます。
⑥	▶ ボタン	出力された複数レポートの最後のページへ進みます。
⑦	🔍 ボタン	出力されたレポートの拡大／縮小表示ができます。
⑧	レポート	本アプリより出力されたレポートイメージです。
⑨	閉じる	レポート画面を閉じます。

レポート

月報

① 月報出力

メインメニューの【レポート】から、【月報】をクリックするとこの画面へ移動します。

〇〇〇県△△△市×××〇丁目 - [月報]

現場情報 データ取り込み 測定値の確認 過去データ検索 レポート 管理メニュー1 管理メニュー2

月報

製品 (1)

設置場所 (2)

測定月 2013年04月 (3) ~ 2013年04月 ☒ 印刷日を出力する

特記事項 (4)

【表示する順番を変更します】

設置場所名 (5)

OK (6)

①	製品選択	レポートを出力する製品を選択します。 (今後、プラグイン追加による対応で、出力できる製品が追加されることがあります。)
②	設置場所	該当製品の設置場所名が一覧で表示されます。複数ある場合は複数表示されます。
③	測定月	レポートを出力する測定月を指定します。
④	特記事項	特記事項を入力します。(省略可)
⑤	表示順番	レポートに表示する測定機器の順番の変更ができます。
⑥	OK	指定された条件で月報を出力します。

※【騒音振動】に月報出力機能はありません。

レポート

日報自動送信設定

① 日報自動送信設定

メインメニューの【レポート】から、【日報自動送信設定】をクリックするとこの画面へ移動します。

日報を登録されたメールアドレスに対して、自動で送信する設定を行います。

The screenshot shows the '日報自動送信' (Daily Report Auto Send) settings window. The interface includes a top navigation bar with tabs like '現場情報', 'データ取り込み', '測定値の確認', '過去データ検索', 'レポート', '管理メニュー1', and '管理メニュー2'. The main content area is titled '日報自動送信' and contains several sections:


- ①** Check for '日報を自動送信する' (Send daily report automatically).
- ②** '製品' (Product) dropdown menu set to '騒音振動(SSE)'.
- ③** '設置場所' (Installation location) list with checkboxes for '北側作業場付近', '東側作業場付近', '南側作業場付近', and '西側作業場付近'.
- ④** '送信先アドレス' (Destination address) input field.
- ⑤** List of registered email addresses.
- ⑥** '追加' (Add) button.
- ⑦** '送信テスト' (Send test) button.
- ⑧** '削除' (Delete) button.
- ⑨** '時間帯' (Time zone) dropdown set to '00:00' to '24:00'.
- ⑩** '特記事項' (Remarks) text area.
- ⑪** '演算タイプ' (Calculation type) section with radio buttons for '10分演算' and '1時間演算', and '表示振動方向' (Display vibration direction) section with radio buttons for 'Z軸', 'Y軸', and 'X軸'.
- ⑫** '【表示する順番を変更します】' (Change the order to be displayed) section with a list of installation locations and arrows to reorder them.
- ⑬** '登録' (Register) button at the bottom right.

レポート

日報自動送信設定

①	日報を自動送信する	日報を自動送信する機能の有効／無効を切り替えます。
②	製品一覧選択	日報を自動送信する製品を選択します。
③	設置場所選択	日報を自動送信する設置場所の対象／非対象を選択します。
④	送信アドレス入力	日報を送信するメールアドレスの入力を行います。
⑤	送信アドレス一覧	日報を自動送信する送信アドレスの一覧を表示します。
⑥	送信アドレス追加	④で入力されたアドレスを⑤へ追加します。
⑦	送信テスト	⑤に追加されているアドレスへ、テストメールの送信を行います。
⑧	送信アドレス削除	⑤で選択された送信アドレスを削除します。
⑨	時間帯選択	日報を出力する時間帯の選択を行います。
⑩	特記事項	レポートへの特記事項を入力します。
⑪	レポート設定	レポートの作成に必要な情報の設定を行います。 選択された製品により、設定を行う項目が異なります。 ※日報の設定内容を参照ください
⑫	表示順番	レポートに表示する測定機器の順番の変更ができます。
⑬	登録	設定した内容で日報自動送信の設定を登録します。

■ 日報自動送信設定の手順 ■

1. 「日報を自動送信する」にチェックをすると、現在測定中の現場レポートをPDFにして、指定のアドレスに送信します。**事前にオプションの「送信メール設定」を行なってください。**
2. レポートを送信する【製品】と【設置場所】を一覧から設定します。
3. 送信先アドレスに、レポートを自動送信するメールアドレスを入力し、【追加】ボタンをクリックして【送信アドレス一覧】に追加します。
4. レポートに表示する情報を指定します。
【時間帯】、【印刷日の出力】、【レポート設定】、【特記事項】
5. 必要であれば、⑪の【表示順番】の位置をドラッグすることでレポートに出力する順番を変更することができます。一番左の項目の  をドラッグすることで変更できます。
6. 【登録】ボタンをクリックすると、設定を保存して画面が閉じます。

レポートは深夜0時過ぎに、前日の日報を作成して送信します。

e-DamWinが起動している状態でないと、日報自動送信が有効となりません。

例：10日の日報を11日0時過ぎに送信

管理メニュー1

マルチマップ設定 – マップ画像登録画面

① マップ画像登録画面

メインメニューの【管理メニュー1】から、【マルチマップ設定】をクリックするとこの画面へ移動します。
マルチマップの表示の背景に使う地図画像を登録することができます。

① ヘルプ	マルチマップ設定に関するヘルプを表示します。
② 画像を選択	ファイルダイアログが表示され、画像ファイルを選択することができます。
③ 削除する	登録画像を削除する際にチェックします。
④ 登録	画像の登録を行います。「削除する」がチェックされている場合は画像を削除します。

■ マップ画像登録画面の操作 ■

1. 画像の登録について

【画像を選択】ボタンをクリックして、ファイルダイアログを表示します。

登録したい画像ファイルを選び、【開く】ボタンをクリックします。

※指定できる画像ファイルは、BMPファイル(*.bmp)、JPGファイル(*.jpg)、PNGファイル(*.png) です。

【登録】ボタンをクリックします。

2. 画像の削除について

④の【削除する】のチェックボックスにチェックをし、【登録】ボタンをクリックします。

管理メニュー1

マルチマップ設定 – スタイル設定画面

② スタイル設定画面

マルチマップで使用する、ポイント画像を設定することができます。



①	ヘルプ	マルチマップ設定に関するヘルプを表示します。
②	ポインタ	3種類のポインタを選択することができます。
③	登録	ポインタを登録します。

■ スタイル設定画面の操作 ■

ポインタ画像を3つの中から選択し、【登録】ボタンをクリックすることで設定することができます。

管理メニュー1

測定値表示設定 – グラフ設定画面

① グラフ設定画面

メインメニューの【管理メニュー1】から、【測定値表示設定】をクリックするとこの画面へ移動します。

「瞬時値グラフ」「演算値グラフ」でのグラフ表示色の変更を行うことができます。

変更した色は右側のサンプルに反映されます。

①	ヘルプ	測定値表示設定に関するヘルプを表示します。
②	一括色変更	全ての測定器のグラフ表示を一括で色変更します。
③	測定器別色変更	測定器ごとにグラフの色の設定を行います。 (今後、プラグイン追加による対応で、設定できる製品が追加されることがあります。)
④	サンプルプレビュー	現在の設定されている色設定を適用したグラフのサンプルが表示されます。
⑤	登録	変更した内容を登録します。

管理メニュー1

測定値表示設定 – グラフ設定画面

■ グラフ設定画面の操作 ■

1. 一括変更

全ての測定器の表示色の設定を一括で変更することができます。

一括変更	背景	<input checked="" type="checkbox"/>	目盛りライン	<input type="checkbox"/>
	データライン1	<input type="checkbox"/>	規制ライン1	<input type="checkbox"/>
	データライン2	<input type="checkbox"/>	規制ライン2	<input type="checkbox"/>
	データライン3	<input type="checkbox"/>	規制ライン3	<input type="checkbox"/>
	データライン4	<input type="checkbox"/>	規制ライン4	<input type="checkbox"/>

騒音振動(SSE)	背景	<input checked="" type="checkbox"/>	目盛りライン	<input type="checkbox"/>
	騒音値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	騒音規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動Z軸値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動Z軸規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動Y軸値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動Y軸規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動X軸値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動X軸規制ライン	<input type="checkbox"/>

騒音振動(SSC)	背景	<input checked="" type="checkbox"/>	目盛りライン	<input type="checkbox"/>
	騒音値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	騒音規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動規制ライン	<input type="checkbox"/>

2. 測定器別の変更

測定器別にそれぞれの項目の表示色を変更することができます。

一括変更	背景	<input checked="" type="checkbox"/>	目盛りライン	<input type="checkbox"/>
	データライン1	<input type="checkbox"/>	規制ライン1	<input type="checkbox"/>
	データライン2	<input type="checkbox"/>	規制ライン2	<input type="checkbox"/>
	データライン3	<input type="checkbox"/>	規制ライン3	<input type="checkbox"/>
	データライン4	<input type="checkbox"/>	規制ライン4	<input type="checkbox"/>

騒音振動(SSE)	背景	<input checked="" type="checkbox"/>	目盛りライン	<input type="checkbox"/>
	騒音値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	騒音規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動Z軸値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動Z軸規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動Y軸値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動Y軸規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動X軸値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動X軸規制ライン	<input type="checkbox"/>

騒音振動(SSC)	背景	<input checked="" type="checkbox"/>	目盛りライン	<input type="checkbox"/>
	騒音値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	騒音規制ライン	<input type="checkbox"/>
	振動値ライン	<input checked="" type="checkbox"/>	振動規制ライン	<input type="checkbox"/>

変更した色は【登録】ボタンをクリックすることで反映されます。

管理メニュー1

測定値表示設定 – 数値設定画面

② 数値設定

「瞬時値数値」「演算値数値」での表示数値の色を変更することができます。

変更した色は右側のサンプルに反映されます。

測定値表示設定

グラフ設定 数値設定

① ヘルプ

一括変更

	数値	<input type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>
	規制値範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制値範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>
	項目名・単位	<input type="checkbox"/>	日時	<input type="checkbox"/>

※規制値範囲外の色設定はマルチマップにも適用されます

騒音振動(SSE)	数値	<input type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>
	規制範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>
	項目名・単位	<input checked="" type="checkbox"/> <td>日時</td> <td><input type="checkbox"/></td>	日時	<input type="checkbox"/>

騒音振動(SSC)	数値	<input type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>
	規制範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>
	項目名・単位	<input checked="" type="checkbox"/> <td>日時</td> <td><input type="checkbox"/></td>	日時	<input type="checkbox"/>

④

登録 ⑤

①	ヘルプ	測定値表示設定に関するヘルプを表示します。
②	一括色変更	全ての測定器の数値表示を一括で色変更します。
③	測定器別色変更	測定器ごとに数値の色の設定を行います。 (今後、プラグイン追加による対応で、設定できる製品が追加されることがあります。)
④	サンプルプレビュー	現在の設定されている色設定を適用した数値項目のサンプルが表示されます。
⑤	登録	変更した内容を登録します。

管理メニュー1

測定値表示設定－数値設定画面

■ 数値設定画面の操作 ■

1. 一括変更

全ての測定器の表示色の設定を一括で変更することができます。

	数値	<input checked="" type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>
一括変更	規制値範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制値範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>
	項目名・単位	<input type="checkbox"/>	日時	<input type="checkbox"/>
	※規制値範囲外の色設定はマルチマップにも適用されます			

騒音振動(SSE)	数値	<input checked="" type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>	2013/04/10 11:44:38
	規制値範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制値範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>	項目名 00.0 単位
	項目名・単位	<input type="checkbox"/>	日時	<input type="checkbox"/>	
騒音振動(SSC)	数値	<input checked="" type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>	2013/04/10 11:44:38
	規制値範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制値範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>	項目名 00.0 単位
	項目名・単位	<input type="checkbox"/>	日時	<input type="checkbox"/>	

2. 測定器別の変更

測定器別にそれぞれの項目の表示色を変更することができます。

	数値	<input checked="" type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>
一括変更	規制値範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制値範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>
	項目名・単位	<input type="checkbox"/>	日時	<input type="checkbox"/>
	※規制値範囲外の色設定はマルチマップにも適用されます			

騒音振動(SSE)	数値	<input checked="" type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>	2013/04/10 11:44:38
	規制値範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制値範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>	項目名 00.0 単位
	項目名・単位	<input type="checkbox"/>	日時	<input type="checkbox"/>	
騒音振動(SSC)	数値	<input checked="" type="checkbox"/>	表示枠	<input type="checkbox"/>	2013/04/10 11:44:38
	規制値範囲外数値	<input type="checkbox"/>	規制値範囲外表示枠	<input type="checkbox"/>	項目名 00.0 単位
	項目名・単位	<input type="checkbox"/>	日時	<input type="checkbox"/>	

変更した色は【登録】ボタンをクリックすることで反映されます。

管理メニュー1

規制値設定

① 設置場所一覧選択画面

メインメニューの【管理メニュー1】から、【規制値設定】をクリックするとこの画面へ移動します。

規制値を設定する機器を選択します。

各設置場所(機器)ごとに規制値を設定することができます。

設置場所	機材名	
北側作業場付近	騒音振動(SSE)	選択
東側作業場付近	騒音振動(SSE)	選択
南側作業場付近	騒音振動(SSE)	選択
西側作業場付近	騒音振動(SSE)	選択

対象機器の右側にある【選択】をクリックすることで、規制値設定画面へ移動します。

管理メニュー1

規制値設定

② 規制値設定画面

測定値表示や警報発信等に利用される規制値を設定します。

規制値が設定できる項目は、接続されている機器により異なります。

①	ヘルプ	規制値設定に関するヘルプを表示します。
②	設置場所一覧に戻る	規制値設定の設置場所一覧へ移動します。
③	規制値	規制値を入力してください。機器により表示される項目、単位が異なります。
④	オーバー	何秒間規制値を超え続けたら警報を発するのを指定します。
⑤	間隔	一度、警報を発してから、次に発するまでの時間を指定します。
⑥	警報灯割り当て	条件を満たした際に点灯させる警報灯の色を設定します。 ※PATLITE社製「PHU-3」型が接続されている必要があります。
⑦	警報音を鳴らす	条件を満たした際に警報音を鳴らす鳴らさないを設定します。

※ここで設定する規制値は、機器やe-Dam本体の規制値設定とは関係ありません。

それぞれの項目に「規制値」「オーバー」「間隔」「警報灯割り当て」を設定し、【登録】ボタンをクリックすることで設定項目が登録されます。

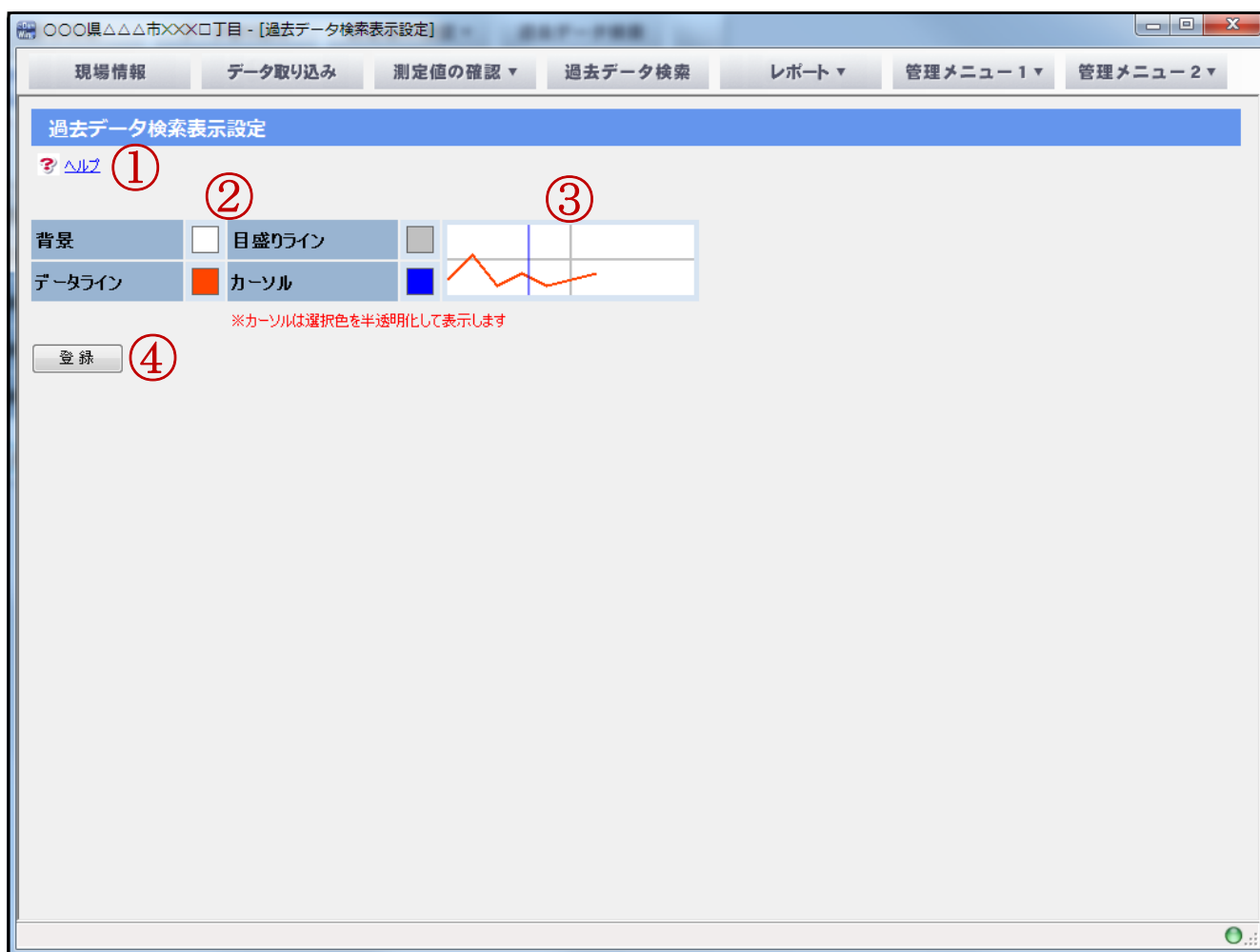
管理メニュー1

過去データ検索表示設定

メインメニューの【管理メニュー1】から、【過去データ検索表示設定】をクリックするとこの画面へ移動します。

「過去データ検索」での検索結果グラフ表示色の変更を行うことができます。

変更した色は右側のサンプルに反映されます。



①	ヘルプ	測定値表示設定に関するヘルプを表示します。
②	項目色変更	グラフの色の設定を行います。
③	サンプルプレビュー	現在の設定されている色設定を適用したグラフのサンプルが表示されます。
④	登録	変更した内容を登録し、グラフ設定画面を閉じます。

※変更方法は「測定値表示設定」と同様の操作となります

管理メニュー2

警報灯設定

メインメニューの【管理メニュー2】から、【警報灯設定】をクリックするとこの画面へ移動します。

警報表示灯の接続設定を行います。

①	ポート番号	表示灯が接続されている【ポート番号】を選択します。
②	点灯時間	点灯時間を入力します。ここに入力した秒数の間、点灯を続けます。
③	サウンドファイル	既定の警報音以外を再生したい場合は、再生したいサウンドファイルを指定します。
④	点灯テスト	【コマンド送信】ボタンをクリックすると、チェックした色が点灯します。
⑤	警報音テスト	警報時に再生される警報音の再生テストが行えます。
⑥	決定	警報灯設定を登録します。

■ 警報灯設定の手順 ■

1. ポート番号の指定

表示灯が接続されている【ポート番号】を指定します。接続されていない場合は【接続なし】を選択してください。ポート番号はコントロールパネルの「デバイスマネージャ」で確認できます。

2. 点灯時間の設定

【点灯時間】を入力します。警報が連続して発生した場合は、その回数だけ秒数が加算されます。

3. 点灯テスト

表示灯を接続した場合は、確認のために点灯テストを行ってください。

【コマンド送信】ボタンをクリックすると、チェックした色が点灯します。

※対応している表示等はPATLITE社製の「PHU-3」型です。

管理メニュー2

メール設定

メインメニューの【管理メニュー2】から、【警報灯設定】をクリックするとこの画面へ移動します。

本ソフトからメールを送信するための設定を行います。

設定完了後、【送信テスト】ボタンをクリックし、実際にメールが送信されているかどうか確認をしてください。

「日報自動送信」を行う場合は、必ず設定してください。

未設定の場合は、自動送信を有効にしても送信できません。

①	メールアドレス	メールの送信先アドレスを指定します。
②	SMTPサーバーアドレス	SMTPサーバーのIPアドレス、またはホスト名を指定します。
③	SMTPサーバーポート番号	SMTPサーバーで使用するポート番号を指定します。
④	SSL接続が必要	SSL接続が必要な場合はチェックをします。
⑤	認証が必要	SMTPサーバー接続に認証が必要な場合はチェックをします。
⑥	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
⑦	パスワード	パスワードを入力します。
⑧	POP before SMTP	SMTPサーバー接続に、最初にPOPサーバーへ接続する必要がある場合はチェックします。
⑨	POPサーバー	POPサーバーのIPアドレス、またはホスト名を指定します。
⑩	POPサーバーポート番号	POPサーバーで使用するポート番号を指定します。
⑪	送信テスト	設定されている情報で、テストメールを送信します。
⑫	決定	入力されている情報を保存し、登録します。

管理メニュー2

オプション設定

メインメニューの【管理メニュー2】から、【オプション設定】をクリックするとこの画面へ移動します。

①	e-DamWinの時計合わせ時刻	選択した時刻を目処に、毎日、e-DamWinの時刻合わせを行います。 ※特記事項の「② EBH2の時計合わせに関して」もご参照ください。
②	決定	入力されている情報を保存し、登録します。

ソフトの終了

ソフトの終了

メイン画面より、右上の【×】ボタンをクリックして終了します。

終了の際は、特にメッセージ表示等はありません。

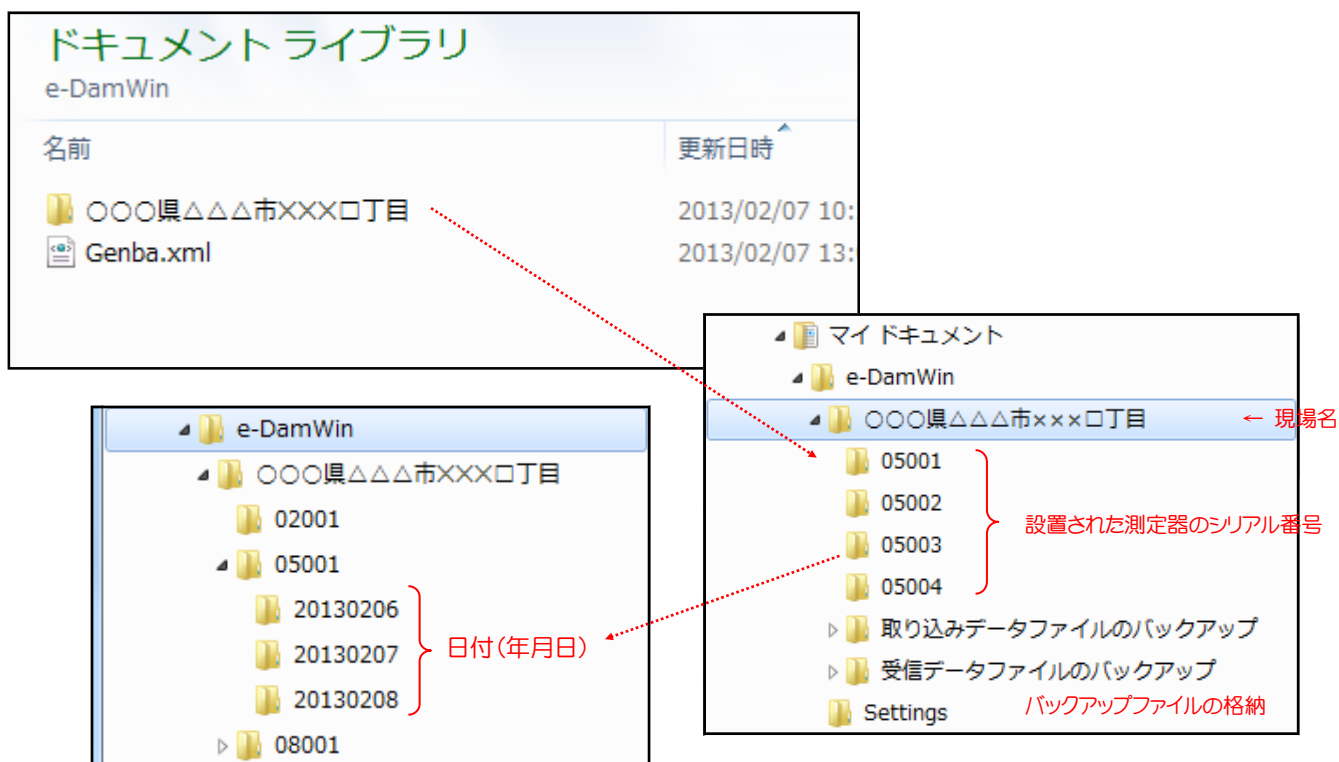
データのバックアップ、復元

データのバックアップ、復元

e-DamWinは初回起動時、ご使用PCのマイドキュメント以下に「e-DamWin」フォルダを作成し、設置された測定器から送られてくるデータ等を管理しています。



「e-DamWin」フォルダ以下には、登録した現場名のフォルダが作成され、現場単位で設置場所のデータを階層的に管理しています。



データのバックアップ、復元

① バックアップ

ご使用PCに保存された測定データ、当アプリケーションの各種設定情報等は、マイドキュメントの「e-DamWin」フォルダのコピーをとっていただくことで簡単にバックアップしていただけます。

② 復元

上記、バックアップした「e-DamWin」フォルダを、復元先PCのマイドキュメントへコピーしていただくことにより、バックアップデータを復元する事ができます。

※バックアップデータ復元時、復元先PCのマイドキュメントに、既に「e-DamWin」フォルダ、同一「現場名」フォルダ、同一「シリアル番号」フォルダが存在する場合、復元先のデータが上書きされますのでご注意ください。

※e-DamWinが初回起動時に作成する「e-DamWin」フォルダは、ご使用PCのマイドキュメント以下から変更する事は出来ません

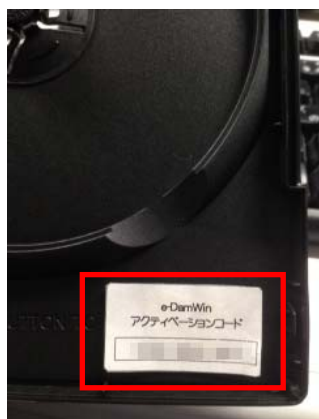
アクティベーションコード認証

① アクティベーションコード認証について

e-DamWinは、初回起動時、有効期限失効時にアクティベーションコードの認証を必要とします。
起動時に以下のような画面が表示された場合、アクティベーションコードの入力が必要です。



アクティベーションコードはe-DamWinのインストールCDケース内部のシールに記載されています。



アクティベーションコードは以下の要素で構成されています。

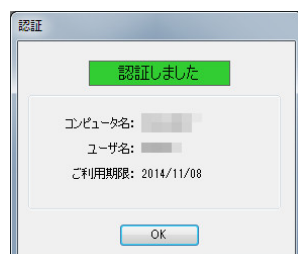
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (数字)

A B C D E F (アルファベット)

0000 - 0000 - 0000 ハイフンを除いた12桁の数字+アルファベットを
認証画面へ入力します。

アクティベーションコードを入力し、実行ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

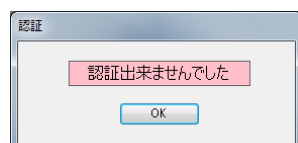
• 認証成功



アクティベーションコードの認証に成功しました。

以後、ご利用期限の間はアクティベーションコードの入力は必要ありません。

• 認証失敗



アクティベーションコードの認証に失敗しました。

シールのアクティベーションコードを再度確認し、正確に入力してください。

特記事項

①「測定値の確認」に関して

EBH2シリーズは、e-DamWinとオフラインの間の測定データを、10分程度(※1)、EBH2本体に溜め込んでいます。

溜め込まれた測定データは、EBH2がe-DamWinとオンラインになった際、EBH2からe-DamWinに送られて来ます。

その際、各測定値の確認画面(マルチマップ、瞬時値グラフ、瞬時値数値、演算値グラフ、演算値数値)に表示されている情報が、送られてくる溜め込まれていたデータで目まぐるしく更新される事があります。

溜め込まれた測定データを受信し終えた後、通常の間隔での更新に戻ります。

※1:e-DamWinとオフラインの間の測定データを溜め込む時間は、EBH2製品によって違いがあります。

② EBH2の時計合わせに関して

e-DamWinは、EBH2と時計合わせの機能を持っています。

対象となるEBH2シリーズは、現在、以下の3機種となっています。

- EBH2-DFF(粉塵風向風速)
- EBH2-SSE(騒音振動)
- EBH2-WBGT(暑さ指数)

通常、e-DamWinを起動した後、EBH2がe-DamWinと通信を開始する際に、e-DamWinを起動したPCの時計時刻で、EBH2の時計合わせを行います。

また、現場で一定期間e-DamWinを終了せずご使用の場合、管理メニュー2→オプション設定の「e-Damの時計合わせ時刻」で設定された時刻を目処に、毎日、e-DamWinとの時計合わせを行います。

※EBH2SSC(騒音振動)は時計合わせの対象ではありません

※e-DamWinとの時計合わせに対応したEBH2シリーズは、今後もリリースされる予定です

初版 2013/04/01
第三版 2014/05/12

Emborick co.,ltd.

株式会社エンボリック

〒361-0001 埼玉県行田市北河原705番地

TEL.048-557-3266 FAX.048-557-3421